取扱説明書

DVD プレーヤー

型名 **XV-PZ55**

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。

再生が可能なリージョン番号表示の例:

ディスクのジャケットもご参照ください。

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LET0234-003C

もくじ

お使いになる前に

接続と準備

基本操作

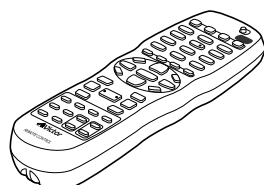
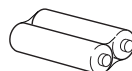
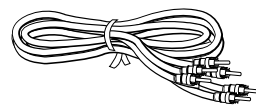
応用操作

音楽·映像ファイルを再生する

初期設定を変更する

知っておいて欲しいこと

付属品をご確認ください

■ 本機をお使いになる前に、同梱の付属品をお確かめください。

リモコン(RM-SXV044D:1個)

単3形乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)

オーディオ/ビデオコード(1本)

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止　接触禁止　分解禁止

ぬれ手禁止　水ぬれ禁止　水場での使用禁止

行為を指示する記号

一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

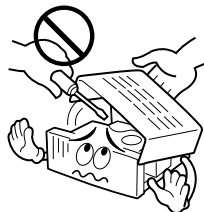
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

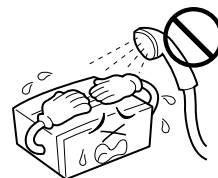
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

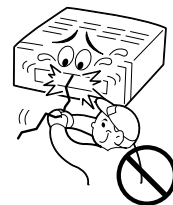
分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

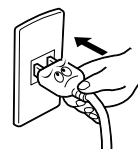
水場での使用禁止

本機の中に物を入れない。

通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

安全上のご注意(つづき) ーはじめにお読みくださいー

⚠警告

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

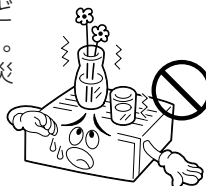
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離してください

設置場所に注意する。

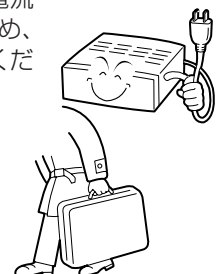
次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

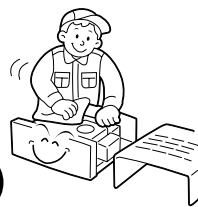
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に、接続したテレビやアンプの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

設置についてのご注意

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所
- バランスの悪い不安定な場所
- 直射日光が当たる所
- 熱器具の近く
- 極端に寒い所
- 寒暖の差が激しい所
- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ご注意

- **本機の使用環境温度は5゜C～35゜Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。**

露がついたときは

次のようなとき、本機内部のレンズに露（水滴）が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気が多い所に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1 ～2 時間待ってから、ご使用ください。

本体のお手入れ

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとで**からぶき**してください。

ご注意

- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。**

ディスクとメモリーカードについて

本機で再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスクの種類とマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVD VIDEO	音楽 ＋ 映像	12センチと8センチ
スーパービデオCD/ビデオCD Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO COMPACT disc SUPER VIDEO		
オーディオCD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	

次のディスクも再生できます。

・DVDビデオのフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-R/RWディスク

・以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
　－オーディオCDフォーマット（**ファイナライズ処理された**ディスクに限ります）
　－ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマット
　－ISO9660フォーマット（MP3ファイルなど音楽・映像ファイルを再生するとき）

ご注意

- **ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。**
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCD など）は再生できません。**
- **2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。**

お知らせ

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
  本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
  このようなときは、テレビ画面に「⊘」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
  CD-G（グラフィック）、CD-EXTRA（エクストラ）、
  CD TEXT（テキスト）、およびMIX-MODE CD

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式（PALなど）のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

ご注意

- **NTSC方式以外のテレビ方式（PALなど）で収録されたディスクを再生するときは、正常なプログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。**

デジタル音声フォーマットについて

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声フォーマットは、次の4種類です。

- ドルビーデジタル（Dolby Digital）
- DTS
- リニアPCM
- MPEG（Moving Picture Expert Group）オーディオ

各フォーマットについては、「用語解説（➡ **46**ページ）」をご覧ください。

お知らせ

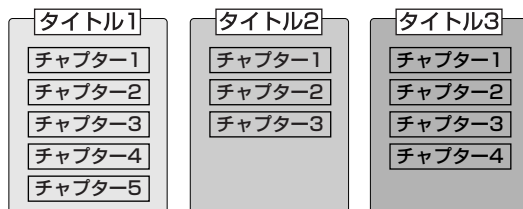
- デジタル音声フォーマット、および本機と接続するデジタル音声機器に応じて、初期設定の「音声設定画面」で「デジタルOUT」の設定を変更する必要があります（➡ **35**ページ）。

商標と著作権

- **本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。**
- **本機はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。**
  dts、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- **ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。**
- **DVDビデオのロゴは商標です。**
- **本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。**
- **お客様が個人的かつ非営利目的でご使用になる場合を除き、MPEG-4ビジュアル規格に準拠して本機をご使用になることは認められていません。**

ディスクの構成について

● DVDビデオ

多くのDVDビデオは、**タイトルとチャプター（章）**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのタイトルまたはチャプターを選んで再生することができます。

お知らせ

- ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

● オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD

これらのディスクは、**トラック**と呼ばれる番号付きの項目から構成されています。お好みのトラック番号を選んで再生することができます。

お知らせ

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。
  本機は「インデックス」による頭出し機能には対応していません。

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

- VR(ビデオレコーディング)フォーマットで記録されたDVD-RW
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- SACD
- フォトCD

再生できないディスクを入れてしまった場合は、リモコンの[開/閉]を押してディスクを取り出してください。

ご注意

- **本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。**

CDロゴマーク

ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

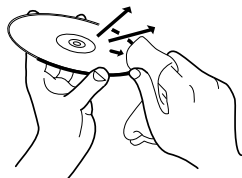
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽くふいてください。ディスクの円周方向にはふかないでください。
- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

メモリーカードについて

本機搭載のメモリーカードスロットで、デジタルカメラ･デジタルムービーで撮影した映像ファイルやPCで作成した音楽ファイルを、次のメモリーカード(市販品)から再生することができます。

- SDカード (SD)
- マルチメディアカード (MMC)
- スマートメディア (SM)
- コンパクトフラッシュ (CF)
- メモリースティック (MS)

これらのメモリーカードは、専用のカードスロットに差し込んで使います(➡ **28**ページ)。

- カードの特性や記録状態によっては再生できない場合もあります。

再生できるファイルについては、27ページをご覧ください。

- 以降、本書ではこれらのカードを、カッコの中のアルファベットで呼称することもあります。

メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、水に濡らしたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。

再生できるメモリーカードの規格について

本機で再生することができるメモリーカードは次の規格を満たしているものに限ります。

項目 / 種類	フォーマット	記憶容量	その他
SD	Fat 12/16	8 MB～256 MB	——
MMC		8 MB～128 MB	セキュアMMCには対応していません。
SM		4 MB～128 MB	動作電圧5 Vタイプには対応していません。
CF＊		4 MB～256 MB	TYPE Ⅰのみ対応(TYPE Ⅱには対応していません)
MS		4 MB～128 MB	メモリースティックプロ、マジックゲートメモリースティックには対応していません。

＊高速書込/読出対応のコンパクトフラッシュは本機で再生できない場合があります。

メモリーカードの初期化について

メモリーカードの初期化については、お使いのデジタルカメラやデジタルムービーで行ってください。PCなどを使って初期化されたメモリーカードは、本機では再生できないことがあります。

- 本機ではメモリーカードを初期化することはできません。

接続と準備

本機をテレビやアンプなどと接続します。

接続にあたってのご注意

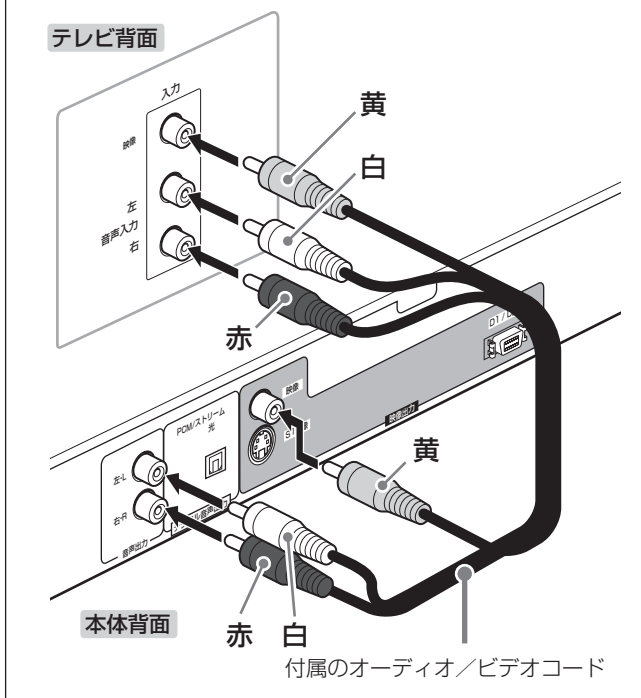
- **すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。**
- **各プラグやコネクターはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音(ノイズ)や音が出ないなどの原因となります。**
- **本機の映像出力は、テレビ(またはモニター)と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。**
  また、ビデオデッキ内蔵のテレビ(テレビデオ)につないだときも、再生中に画像が乱れる場合があります。

お知らせ

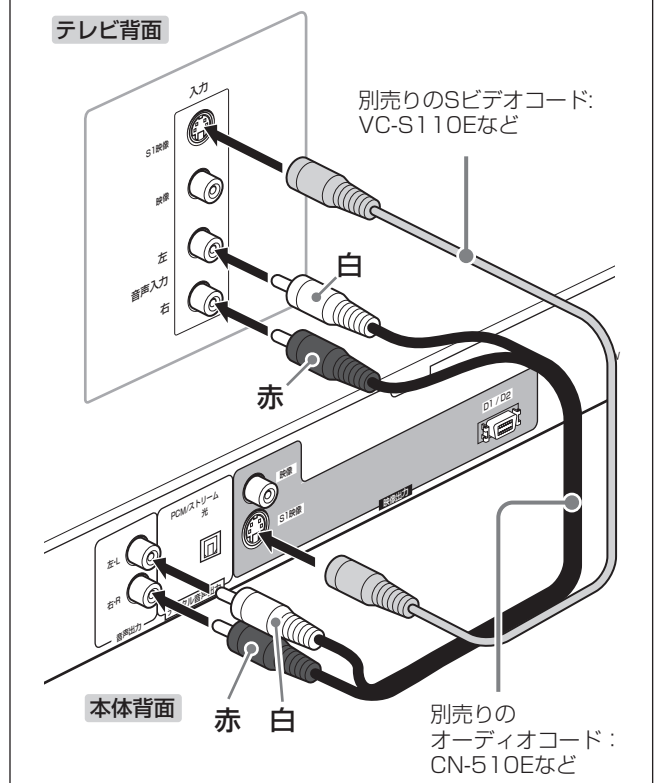
- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」(➡ **40**ページ)をご覧ください。
- テレビ(またはモニター)の映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りの変換アダプター(VZ-90)を使用してください。

テレビとつなぐ

テレビの入力端子の種類によって、次の3通りの接続方法があります。

A 映像入力端子付きテレビと接続する

接続のあとで

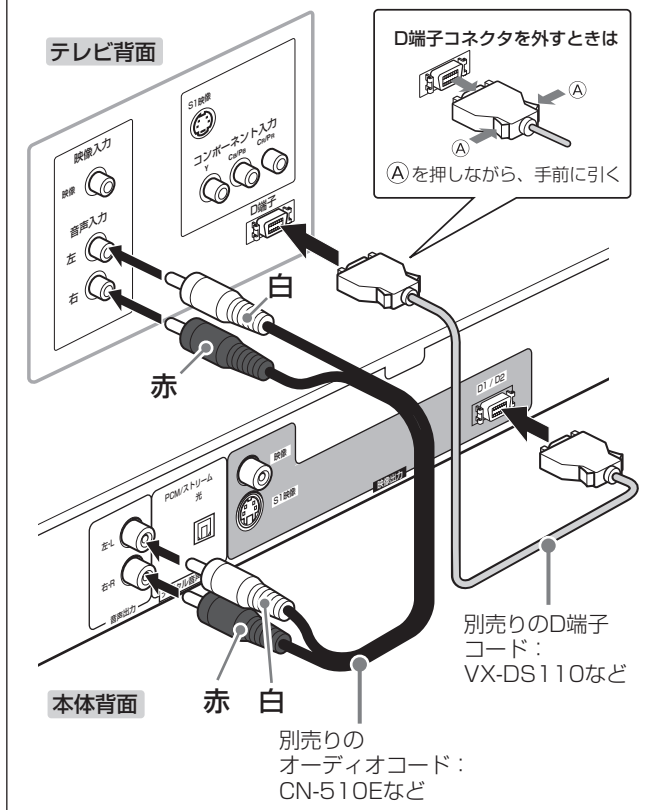
- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します(➡ **11**ページ)。
- **スキャンモード**：「インターレース」に設定します(➡ **12**ページ)。

B S映像入力端子付きテレビと接続する

接続のあとで

- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します(➡ **11**ページ)。
- **スキャンモード**：「インターレース」に設定します(➡ **12**ページ)。

S映像端子について

- **S映像は、映像を輝度信号(Y)と色信号(C)に分けた映像信号です。映像入力端子に接続した場合(黄色のプラグ)より、色のにじみの少ない鮮明な映像がお楽しみいただけます。**
- **本機のS映像出力端子は、S1映像信号に対応しています。S1映像信号は、S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。**

C D端子付きテレビと接続する

接続のあとで

- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」項目で、接続したテレビの画面サイズを設定します（➡ **11**ページ）。
- **スキャンモード**：**テレビがプログレッシブ対応**
  「プログレッシブ」に設定します（➡ **12** ページ）。
  テレビがプログレッシブ対応ではない
  「インターレース」に設定します（➡ **12** ページ）。

ご注意

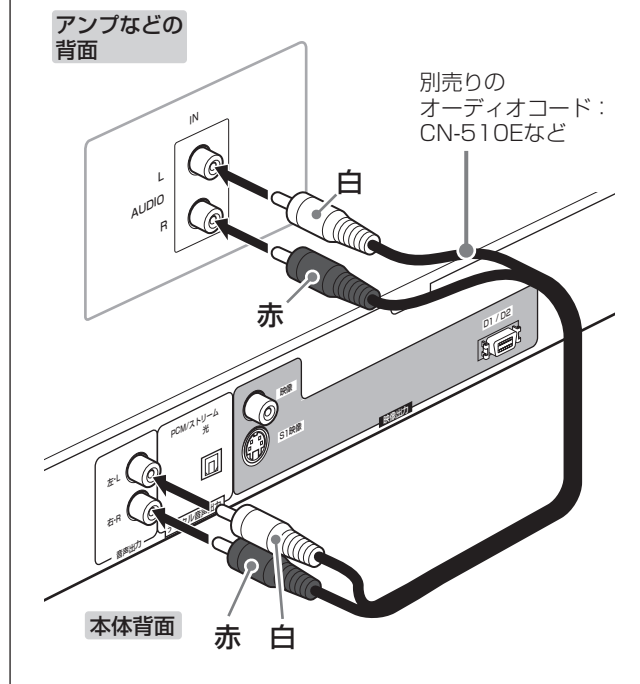
- プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビのD端子がD２信号に対応している必要があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- D端子を使ってテレビと接続するときは、本機の他の映像出力端子はテレビと接続しないでください。
  映像の色や明るさが正しく再生されません。

D端子について

- D端子は、コンポーネント映像端子と同じ信号（映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号）を扱いますが、コード1本で接続でき、送られる映像の信号フォーマットや縦横比（アスペクト比）の検出信号をもっているのが特長です。色の発色が良く、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。
- 本機のD端子（D1/D2）は、D2信号まで対応しています。

アンプやレシーバーとつなぐ

アンプやデコーダーなどとつないで、より本格的な音声を楽しむことができます。
ここでは、音声のアナログ接続とデジタル接続の説明をします。音声の接続に加えて、AVアンプなどに映像接続をするときは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

A アナログ音声接続をする

接続のあとで

- **初期設定画面**：**ドルビープロロジックデコーダーを搭載している機器のとき**
  「**アナログダウンミックス**」項目で、「ドルビーサラウンド」に設定します（➡ **35**ページ）。
  ドルビープロロジックデコーダーを搭載していない機器のとき
  項目「**アナログダウンミックス**」を「ステレオ」に設定します（➡ **35**ページ）。

ドルビーサラウンドについて

- ドルビーサラウンドをお楽しみ頂くためには、ドルビーサラウンド信号を含むDVDソフトなどと専用のデコーダーが必要です。
  本機は、ドルビーサラウンド信号をそのまま出力するか、アナログ2チャンネル信号として出力するかを選ぶことができます。

アンプやレシーバーとつなぐ(つづき)

デジタル音声接続をすると、本機で再生した音声をデジタル信号のまま外部機器へ出力することができます。
- アナログ音声接続も同時に行ってください。音声の収録方式によっては、デジタル信号が出力されないことがあります。

B デジタル音声接続をする

アンプなどの背面

別売りの光デジタルケーブル：XN-110SAなど

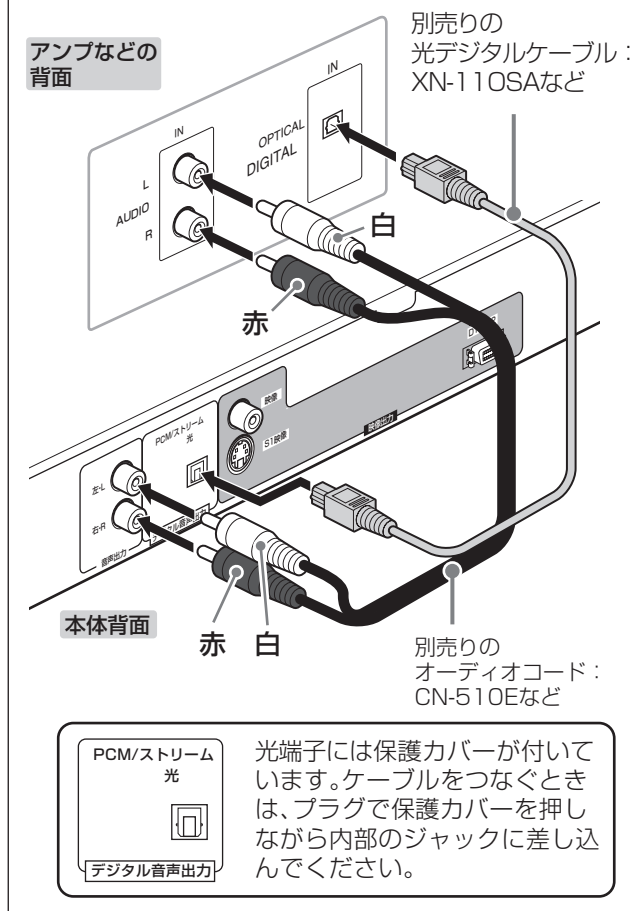
白

赤

本体背面

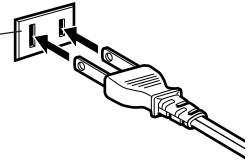
赤　白

別売りのオーディオコード：CN-510Eなど

光端子には保護カバーが付いています。ケーブルをつなぐときは、プラグで保護カバーを押しながら内部のジャックに差し込んでください。

接続のあとで
- 簡単セットアップ：項目「**デジタルOUT**」で接続した機器の搭載デコーダーの種類を設定します(➡ **11**ページ)。

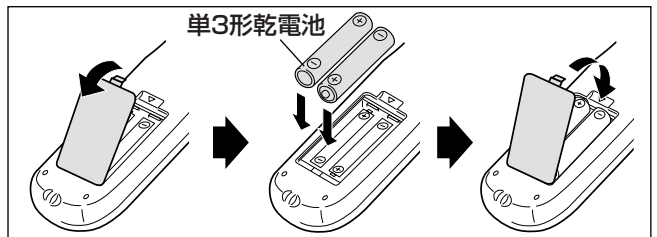
デジタル音声のデコーダーについて
- デジタルマルチチャンネル音声では専用のデコーダーを使ってマルチチャンネルサラウンドがお楽しみになれます。本機のデジタル出力設定について詳しくは「簡単セットアップを行う」(➡ **11**ページ)や音声メニューの「デジタルOUT」(➡ **35**ページ)をご覧ください。

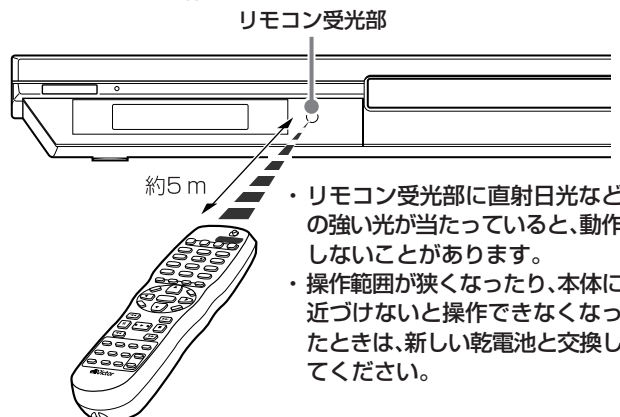
電源コードをつなぐ

接続がすべて終わってから、本機の電源コードを家庭用コンセント(交流100V)にしっかりと差し込んでください。

電源コードを接続すると、本体のSTANDBYランプが赤く点灯します。

ご注意
- 電源コードはテレビやビデオデッキ、アンテナ線などから離してください。接近していると雑音が発生したり、映像が乱れたりすることがあります。
- 濡れた手で電源コードに触らないでください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。

リモコンの準備をする

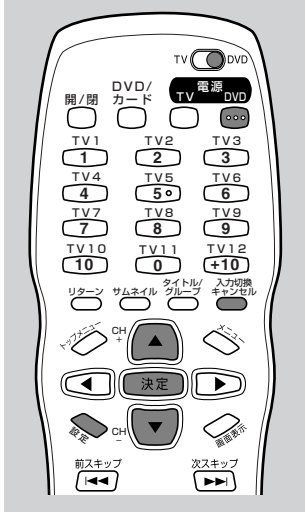
下図のように単3形の乾電池を入れます。
電池の極性(＋、－)を間違えないように入れてください。

ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 充電式電池は使わないでください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。液もれなどの原因になります。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

リモコンの操作範囲について
- リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5 mですが、斜めから操作すると短くなります。

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

本機の再生条件などを設定する

操作の前に

- 以下、本書では主にリモコンからの操作を説明します。リモコンと同じマークのある本体のボタンでも、同様の操作をすることができます。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- 本機を操作するときは、TV-DVD切換スイッチを「DVD」側にします。

簡単セットアップを行う

「簡単セットアップ」画面で、次の再生条件を設定します。

- **テレビ画面のタイプ**
- **デジタル音声出力の種類**

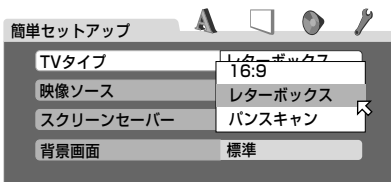
これらの設定内容は、あとから初期設定画面で設定、変更することができます（➡ **33**ページ）。

❶ [電源] を押して電源を「入」にする

本体のSTANDBYランプが赤から緑に変わります。
テレビ画面にオープニング画面が表示されます。

オープニング画面

❷ [設定] を2秒以上押し続ける

「簡単セットアップ」画面が表示され、「TVタイプ」のプルダウンメニューが表示されます。

❸ [▲]/[▼] を押してテレビのタイプを選ぶ

- **通常のテレビと接続しているとき**
  「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。
- **ワイドテレビと接続しているとき**
  「16:9」を選びます。

詳しくは、**34**ページの「TVタイプ」をご覧ください。

❹ [決定] を押す

テレビのタイプが設定され、次の設定画面で「デジタルOUT」のプルダウンメニューが表示されます。

❺ [▲]/[▼] を押してデジタル音声出力のタイプを選ぶ

- **外部機器に専用デコーダーがないとき**
  「PCMのみ」を選びます。
- **本機のドルビーデジタルデコーダーを使わずに、外部機器でドルビーデジタル信号をデコードするとき**
  「DOLBY DIGITAL/PCM」を選びます。DTS信号、MPEG信号は本機でデコードされPCM音声で出力されます。
- **再生しているソフトのデジタル音声をそのまま出力し外部機器ですべての信号をデコードをするとき**
  「ストリーム/PCM」を選びます。

専用デコーダーの有無については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

詳しくは、**35**と**36**ページをご覧ください。

❻ [決定] を押す

簡単セットアップが終了し、オープニング画面が表示されます。

電源を「切」にするには

[DVD電源]を押すと、電源が「切」になります。
- 本体の[⏻/I STANDBY/ON]を押しても電源が「入/切」します。

オープニング画面について

- 本機では、お好みの静止画をオープニング画面の代わりに表示させることができます（カスタムオープニング画面）。詳しくは、30と34ページをご覧ください。
- オープニング画面には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

「NOW READING」	：ディスク情報の読み取り中です。しばらくお待ちください。
「リージョンコードエラー!」	：リージョンコードが違うため、このDVDビデオは再生できません。
「このディスクは再生できません!」	：再生できないディスクです。
「OPEN」	：ディスクトレイが開いています。
「CLOSE」	：ディスクトレイを閉じています。
「NO DISC」	：ディスクが入っていません。

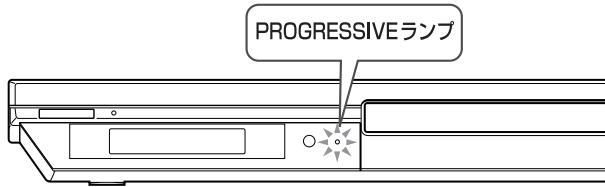
スキャンモードを切り換える

プログレッシブスキャン対応テレビと本機をD映像端子で接続したときは、スキャンモードをプログレッシブ方式に切り換えます。
お買い上げ時は「インターレース」に設定されています。
初期設定メニューの表示中は、切り換えることができません。

<停止中に>

VFP プログレッシブ を1秒以上押す

スキャンモードがプログレッシブ方式に切り換わり、本体のPROGRESSIVEランプが点灯します。

- **スキャンモードがプログレッシブ方式のときは、D映像以外の端子からは、映像が出力されません。**

インターレース方式に戻すには
[プログレッシブ(VFP)]を1秒以上押します。
本体のPROGRESSIVEランプが消灯します。

PROGRESSIVEランプの点灯について

本機のスキャンモードがプログレッシブ方式のとき、本機の映像ソースの設定およびディスクの収録素材(➡ 34ページ)によって、PROGRESSIVEランプの色が次のように変わります。

映像ソースの設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
ビデオ（ノーマル） ビデオ（アクティブ）	赤	赤
フィルム	緑	緑
オート	緑	赤

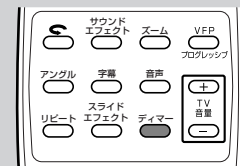
- **停止中は、常に赤く点灯します。**
- **本機の状態や再生の状態によっては、正しく点灯しないこともあります。**

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVD ビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。
ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

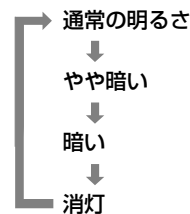
お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
  本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」にしてお使いください。
  ビクター製のテレビでは、HD-32LS3やAV-32AD3などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

表示窓の明るさを変更する

本体表示窓の明るさを調節することができます。

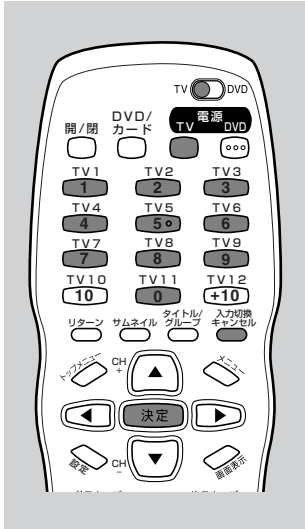
<いつでも>

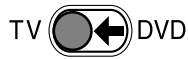
ディマー を押す

- ボタンを押すごとに、本体表示窓の明るさが4段階に変化します。

リモコンの設定をする

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
他メーカーのテレビを操作する場合は、そのメーカーに対応したコードを設定する必要があります。

- **ビクター製のテレビは、お買い上げ時のままで操作することができます。**

テレビのメーカーコードを設定する

❶ **リモコンのTV-DVD切換スイッチを「TV」側にする**

TV DVD

❷ **入力切換 キャンセル を手順❹が終わるまで押し続ける**

❸ **数字ボタン（1〜9、0）を押してコード番号を入力する**

例：松下「02」の場合、[0] ➡ [2]と押す
　　シャープ「10」の場合、[1] ➡ [0]と押す

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
アイワ	14
NEC	12
サンヨー	08、09
シャープ	10
ソニー	05

メーカー名	コード番号
東芝	07
パイオニア	11
日立	06
フナイ	13、15、16
松下	02、03
三菱	04

❹ **決定 を押す**

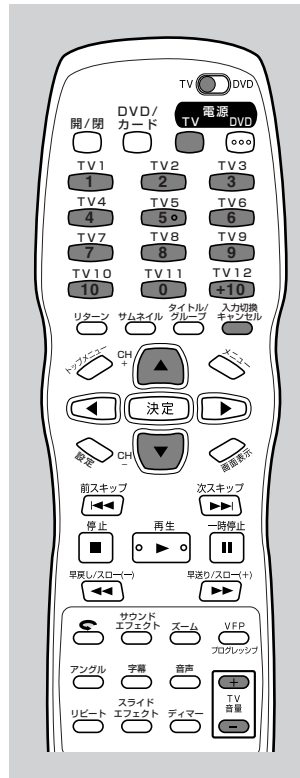
このあと、[入力切換（キャンセル）]から指を離します。
これで、リモコンのメーカーコードの変更は終わりです。

❺ **TV 電源 DVD を押してテレビの動作を確認する**

ボタンを押すごとに、テレビの電源が「入/切」できれば、リモコンのメーカーコードは正常に変更されました。

もし、テレビの電源が「入/切」しないときは、もう一度最初からやり直してください。

- 複数のコード番号があるメーカーについては、別の番号も入力してみてください。

テレビを操作する

ご注意

- **テレビの操作をするときは、TV-DVD切換スイッチを「TV」側にします。**
- **テレビの操作が終わったら、「DVD」側に戻してください。**

❶ **リモコンのTV-DVD切換スイッチを「TV」側にする**

テレビの操作ができるようになります。

❷ **テレビを操作する**

次のボタンを使ってテレビを操作します。

ボタン	説明
TV 電源 DVD	テレビの電源を「入/切」します
TV 音量 ＋／－	音量を調節します リモコンのTV-DVD切換スイッチが「TV」側でないときでも使えます
CH＋ ▲ / CH－ ▼	チャンネルを変えます 数字ボタン（TV1〜TV12）も使えます
入力切換 キャンセル	テレビの入力をビデオ入力に切り換えます

❸ **テレビの操作が終わったら、TV-DVD切換スイッチを「DVD」側に戻す**

本機の操作ができるようになります。

接続と準備

DVDプレーヤーの基本操作

本機では様々なディスク操作をすることができます。操作の中には、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。本書では、機能ごとに次のマークを示し、説明中の操作がどの種類のディスクでできるのかお知らせします。

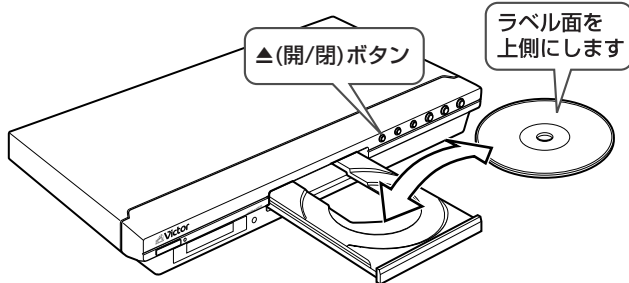
例：オーディオCDでは操作できないとき

再生する

❶ 開/閉 または本体の▲(開/閉)を押す

ディスクトレイが出てきます。
- 電源が「切」のときは、電源が「入」になります。

❷ ディスクをディスクトレイに置く

8センチディスクは内側の凹部に置きます。

- 両面ディスクのときは、再生したい面を下にして、ディスクトレイに置きます。

❸ 開/閉 または本体の▲(開/閉)を押してディスクトレイを閉める

❹ 再生 を押す

再生が始まります。
- ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると再生が始まるものもあります。

メニュー画面が表示されたときは

ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面から再生を始めることができます（➡ **18**ページ）。

ご注意

- ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクを破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因になります。
- 「再生できないディスク」（➡ **7**ページ）は使わないでください。
- 手順❹のあと、本体表示窓に「READING」と表示され、1分以上待っても再生が始まらない場合は、リモコンの[開/閉]を押してディスクを取り出し、ディスクを確認してください。

再生中の本体表示窓の表示について

- ディスクの再生中に、本体表示窓には再生中のタイトル、チャプター、トラック、再生経過時間などのディスク情報が表示されます。

例：DVDビデオを再生したとき

ディスクの種類

音声信号形式　タイトル番号　チャプター番号　再生経過時間など

例：オーディオCDを再生したとき

ディスクの種類

音声信号形式　トラック番号　再生経過時間など

- ステータスバーを表示させて、ディスク情報を確認することもできます（➡ **23**ページ）。

再生を停止する

<再生中に>

[停止] を押す

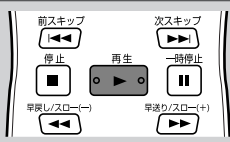
再生が停止します。

- DVDビデオの再生中は、リジューム設定(➡ **35**ページ)が「オン」または「ディスクリジューム」のとき、テレビ画面上に「RESUME STOP」と一時的に表示され、停止位置が記憶されます。また、本体表示窓のRESUME表示が点灯します。
このとき、**リジューム再生**をすることができます。

停止位置の記憶について

停止位置は再生中に[停止(■)]を押すごとに記憶されます。記憶された停止位置は電源を「切」にしても残りますが、停止中に[停止(■)]を押すと取り消されます。
また、リジューム設定(➡ **35**ページ)によっては、ディスクトレイを開けると、停止位置の記憶が取り消されます。

- **リジューム設定が「オン」のとき:**
ディスクトレイを開けると、停止位置の記憶は取り消されます。
- **リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき:**
ディスクを取り換えても、停止位置の記憶は残ります。さらに、停止位置はディスク30枚分まで記憶されます。30枚を超えて記憶させたときは、古い順に取り消されます。

リジューム再生をする

停止位置が記憶されているとき、その続きから再生を始めることができます。

<RESUME表示の点灯中または電源「切」のとき>

[再生] を押す

記憶された停止位置から続きが再生されます。電源が「切」のときは、電源が「入」になり再生が始まります。

ディスクのはじめから再生するときは

停止中に[停止(■)]を押して、停止位置の記憶を取り消してから[再生(►)]を押します。

お知らせ

- DVDビデオ以外のディスクでは、リジューム再生は働きません。また、DVDビデオでもディスクによっては働かないことがあります。
- [DVD/カード](本体では[DVD/CARD])を押すと、停止位置の記憶は取り消され、リジューム機能は働きません。
- 停止位置の記憶を残したいときは、リジューム設定を「ディスクリジューム」にしてからディスクを取り出してください。
- DVDビデオのメニュー画面表示中は、再生位置が記憶できないことがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生をするときは、再生位置が記憶された面を下にしてディストレイに置いてください。
- 停止位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき、リジューム設定を「オフ」にしても、「ディスクリジューム」に戻すと、前回記憶させた位置から再生できるようになります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

🚫 : 本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

- ▶ : 再生を開始すると表示されます。
- ⏸ : 一時停止(➡ **17**ページ)すると表示されます。
- ⏪ ⏩ : 早送り/早戻し再生(➡ **16**ページ)をすると表示されます。
- スロー : スローモーション再生(➡ **17**ページ)をすると表示されます。
- 音声 : 複数の音声言語/音声が収録されている場面で表示されます(➡ **19**ページ)。
- 字幕 : 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(➡ **19**ページ)。
- アングル : 複数のアングルが収録されている場面で表示されます(➡ **20**ページ)。

- **オンスクリーンガイドは表示しないようにすることもできます(➡ 35ページ)。**

スクリーンセーバーについて

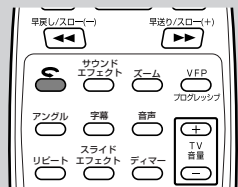
長い時間、テレビ画面に静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。
DVD設定メニュー画面表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

- **JPEGやMPEG-4の映像再生時には、静止画が表示されてもスクリーンセーバー機能は働きません。**

スクリーンセーバー機能は「映像メニュー」(➡ 34ページ)で設定します。

基本操作

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

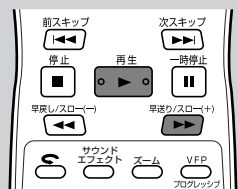
今見たシーンをもう一度見る [チョット見バック]

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます。

<再生中に>

を押す

約10秒前に戻ってから再生が始まります。

- DVDビデオによっては、働かない場合があります。また、再生するタイトルが切り換わった直後では、前のタイトルに戻ることはできません。

1.5倍速早見再生をする

音声を聞きながら早送り再生をします。

<再生中に>

早送り/スロー(+) を1回押す

1.5倍速早見再生が始まります。

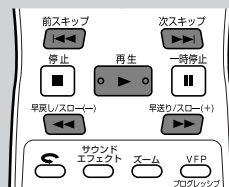
- 早戻し再生から1.5倍速早見再生にする場合は、一度[再生(►)]を押してから操作してください。

通常の再生に戻すには

[再生(►)]を押します。

お知らせ

- 字幕があるときは、表示されます。
- ディスクによっては音声がとぎれる場合があります。
- DVDビデオのデジタル音声フォーマットがドルビーデジタルまたはDTSのときは、リニアPCM2chの出力になります。DVDビデオによっては音程や音質、音量が変わることがあります。

早送り/早戻し再生をする

早送り/早戻し1

<再生中に>

前スキップ または 次スキップ を押し続ける

[次スキップ(►►I)]を押し続けている間、5倍速の早送り再生になります。

[前スキップ(I◄◄)]を押し続けている間、5倍速の早戻し再生になります。

ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し2(リモコンのみ)

<再生中に>

早送り/スロー(+) または 早戻し/スロー(−) を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが2倍(DVDビデオの順方向のみ1.5倍速早見再生)から60倍まで次のように変化します。

2 ➜ 5 ➜ 20 ➜ 60
(DVDビデオのみ)

DVDビデオの順方向のみ:

1.5 ➜ 5 ➜ 20 ➜ 60

通常の再生に戻すには

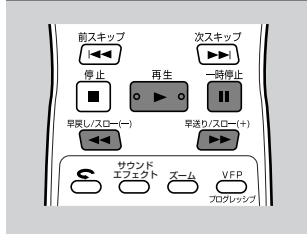
[再生(►)]を押します。

お知らせ

- 早送り(1.5倍速早見再生は除く)/早戻し再生中は、音声が出ません。オーディオCDでは、音声が断続的に聞こえます。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

►► x20
例:早送り20倍のとき

◄◄ x5
例:早戻し5倍のとき

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生する[スロー]

<再生中に>

[一時停止] を押す

再生が一時停止し、本体表示窓の「II」が点灯します。

画像を1コマずつ送る(コマ送り)

<一時停止中に>

[一時停止] を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

スローモーション再生する

<一時停止中に>

[早戻し/スロー(−)] または [早送り/スロー(+)] を押す

[スロー(+)(►►)]を押すと順方向のスローモーション再生になります。
[スロー(−)(◄◄)]を押すと逆方向のスローモーション再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

$\frac{1}{32}$ ➡ $\frac{1}{16}$ ➡ $\frac{1}{4}$ ➡ $\frac{1}{2}$

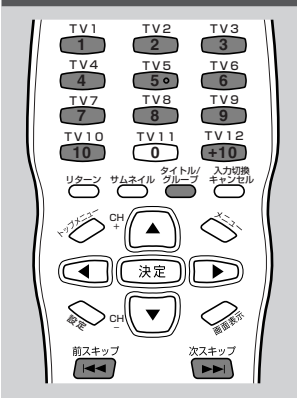
通常の再生に戻すには
[再生(►)]を押します。

お知らせ

- スローモーション再生中は、音声が出ません。
- オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

I▷ 1/2
例:スローモーション
順方向1/2のとき

◁I 1/32
例:スローモーション
逆方向1/32のとき

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

前後のタイトル/チャプター(DVDビデオ)やトラック(オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD)の頭にスキップすることができます。

頭出し1

<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

[前スキップ] または [次スキップ] を押す

選んだチャプター/トラックが本体表示窓に表示され、再生が始まります。

[次スキップ(►►I)]をくり返し押すと、先のタイトル/チャプター/トラックに進みます。

[前スキップ(I◄◄)]をくり返し押すと、前のタイトル/チャプター/トラックに戻ります。

- 現在再生しているタイトル/チャプター/トラックの頭に戻すには、1回だけ[前スキップ(I◄◄)]を押します。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDで停止中にトラックを選んだときは、[再生(►)]を押して再生を始めます。

頭出し2(リモコンのみ)

<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

数字ボタン(1〜10、+10)を使って番号を指定する

指定した番号が本体表示窓に表示され、再生が始まります(ダイレクト再生)。

- DVDビデオのときは、チャプターが指定されます。
- DVDビデオのタイトルを指定するときは、[タイトル/グループ]を押してから数字ボタンを押します。ただし、停止中のときは、数字ボタンだけでタイトルが指定されることがあります。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます。(停止中のときは再生が始まります)

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　:[5]を押します。
番号「24」を選ぶには　:[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには　:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

ご注意

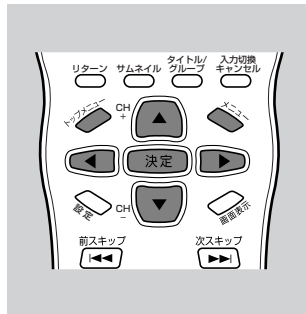
- DVDビデオやPBC(「用語解説➡ 46ページ」)対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものもあります。
- 「⃠」が表示されたときは…
押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていません。

基本操作

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

メニューから再生する

DVDビデオのメニューや、ビデオCD/スーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)(➡ 46ページ)機能を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

<DVDビデオ:いつでも>

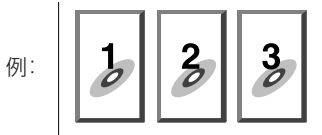
❶ [トップメニュー] または [メニュー] を押す

メニュー画面が表示されます。

❷ ◀/▶/▲/▼ を使って見たい映像や項目を選び、[決定] を押す

選択したところから再生されます。

- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

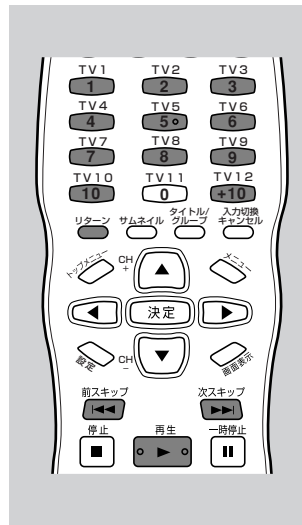
例:

[トップメニュー] と [メニュー] について

- 通常は[トップメニュー]を押して、タイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させます。
  ディスクによっては、[メニュー]を押して、メニュー画面を表示させることがあります。
  各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をご覧ください。

ご注意

- [トップメニュー]を押したとき「⃠」が表示されたときは…
  そのディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されていません。
- [メニュー]を押して「⃠」が表示されたときは…
  そのディスクにメニュー画面自体が収録されていません。
- 停止中は、[メニュー]は働きません。

ビデオCD/スーパービデオCDのメニューから選ぶ

DVD ビデオ | オーディオ CD | ビデオ CD | スーパー ビデオCD

PBCが記録されたビデオCD/スーパービデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

<PBC対応ディスクが停止中に>

❶ [再生] を押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

❷ 数字ボタン(1〜10、+10)を使って見たいトラックの番号を指定する

選んだ番号のトラックが再生されます。

番号「5」を選ぶには	:[5]を押します。
番号「24」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには	:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

メニュー画面に戻るときは

[リターン]を押します。

テレビ画面上に[次]または[前]が表示されたときは

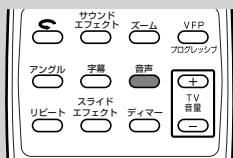
[次スキップ(▶▶|)]を押してメニューの次のページへ進みます。
[前スキップ(|◀◀)]を押してメニューの前のページへ戻ります。

- 操作方法はディスクにより異なります。

PBCを「入/切」するには

- **PBCを「切」にして再生するには**
  停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。
- **PBCを「入」にするには**
  [停止(■)]を押してから、[再生(▶)]を押します。

DVDプレーヤーの便利な機能

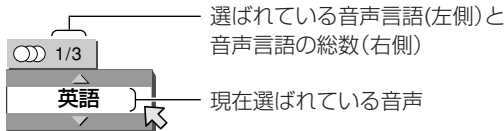
音声言語/音声を選ぶ[音声]

複数の音声言語/音声が収録されているディスクで、お好みの音声言語/音声を選びます。

- **複数の音声が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で画面に「◯))」と表示されます。**

<再生中に>

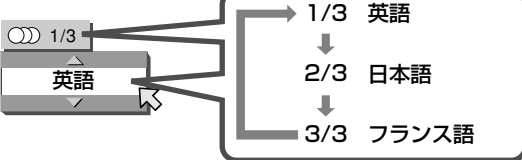
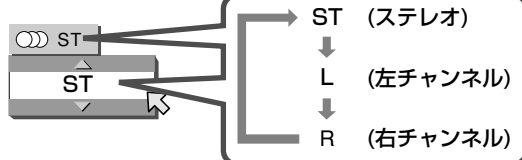
❶ 音声 を押す

テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

例:DVDビデオのとき

例:ビデオCDのとき

❷ 音声 をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切り換わります。

例:DVDビデオのとき

例:ビデオCDのとき

音声選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

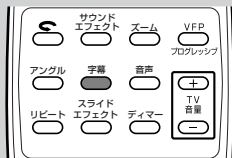
- 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

- メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます(➡ **24**ページ)。
- DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **36**ページ)で表示されます。

ご注意

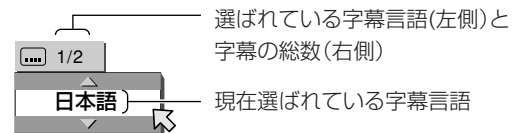
- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「◯))」は表示されません (➡ 35ページ)。**
- **「⊘」が表示されたときは…**
  ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **ディスクに収録されていない音声言語/音声については、音声の切り換えがご使用になれません。**

字幕を切り換える[字幕]

複数の字幕言語が収録されているディスクで、お好みの字幕言語を選びます。

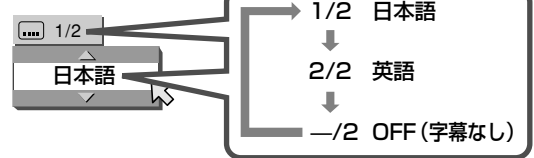
- **複数の字幕が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で「....」が画面に表示されます。**

<再生中に>

❶ 字幕 を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

❷ 字幕 をくり返し押して字幕言語を選ぶ

ボタンを押すごとに、字幕言語が切り換わります。

例:

字幕選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

- 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

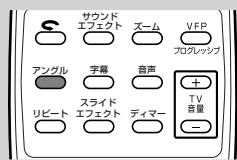
お知らせ

- メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます(➡ **24**ページ)。
- DVDビデオの再生中、字幕選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **36**ページ)で表示されます。

ご注意

- **オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「....」は表示されません(➡ 35ページ)。**
- **「⊘」が表示されたときは…**
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- **ディスクに収録されていない言語については、字幕の切り換えがご使用になれません。**

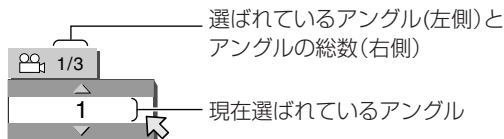
DVDプレーヤーの便利な機能(つづき)

アングルを切り換える[アングル]

DVDビデオの中には、一つの場面を複数のカメラで異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)を収録しているものがあります。お好みのアングルを選んで再生することができます。

・**マルチアングルが収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で画面に「 」と表示されます。**

<再生中に>

❶ アングル を押す

テレビ画面にアングル選択ウィンドウが表示されます。

❷ アングル をくり返し押してアングル選ぶ

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

アングル選択ウィンドウを消すには

[決定]を押します。

・何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

・メニューバーを使って、アングルを選ぶこともできます(➡ **24**ページ)。

ご注意

・**オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「 」は表示されません (➡ 35ページ)。**
・**「 ⃠ 」が表示されたときは・・・**
ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
・**マルチアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切り換えはご使用になれません。**

くり返し再生する[リピート]

<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:再生中または停止中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

リピート を押す

停止中にボタンを押したときは、[再生(►)]を押してリピート再生を始めます。
ボタンを押すごとに、リピートモードが切り換わります。

・リピートモードは、本体表示窓とテレビ画面上に次のように表示されます。

本体表示窓	テレビ画面	モードの説明
⮌1	CHAPTER(DVD)	現在のチャプター
	TRACK(DVD以外)	現在のトラック
⮌	TITLE(DVD)	現在のタイトル
	ALL(DVD以外)	全トラック
消灯	OFF	リピート再生のモードを解除します。

・この他に、任意の2点間をくり返すA-Bリピート再生をすることもできます。A-Bリピート再生について詳しくは、**25**ページをご覧ください。

リピート再生をやめるには

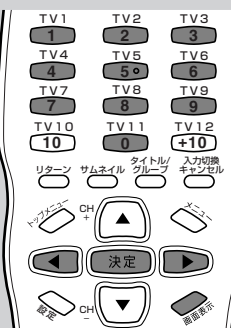
[停止(■)]を押します。

DVDビデオ: 再生が停止し、リピート再生のモードが解除されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD:
再生は停止しますが、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

[リピート]を押して、本体表示窓のリピートモード表示を消灯させるか、テレビ画面上に「オフ」を表示させます。

再生したい位置の時間を指定する(タイムサーチ)

現在のタイトル(DVDビデオ)やディスク(ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD)の頭からの時間を指定して、再生を始めることができます。

・**DVDビデオによっては、働かない場合があります。**

<DVDビデオ/オーディオCD　:再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

次ページに続く

❶ [画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる
メニューバーについて詳しくは、**23**ページをご覧ください。

❷ [◀]/[▶] を押して[カーソル]を[時間サーチ]に合わせ、[決定] を押す

❸ 数字ボタン(1～9、0)を押して再生したい時間を入力する
例:DVDビデオのとき

TIME 2:34:__

2時間34分0秒から再生するときは、[2]➡[3]➡[4]と押します。

・DVDビデオ以外のときは、分と秒を入力します。
・秒の入力は省略することができます。
・[10]と[＋10]は使用しません。

入力を間違えたときは、間違えた数字が消えるまで[◀]を押し、そのあと正しい数字を入力し直してください。

❹ [決定] を押す
指定した時間から再生が始まります。

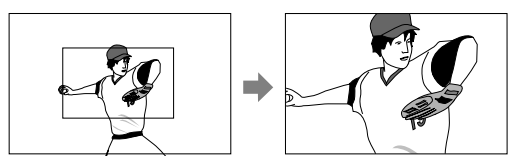
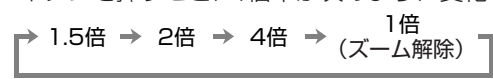
通常の画面に戻すには
[画面表示]を押します。

画面を拡大する[ズーム]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

<再生中または一時停止中に>

❶ [ズーム] を押す
画面が拡大されます。
・ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼] を押して拡大したい部分を選ぶ

通常の画面に戻すには
[ズーム]を押して1倍に戻します。

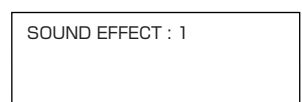
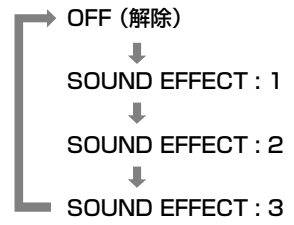
ご注意
・拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

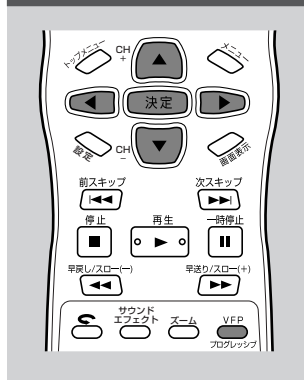
音場効果を切り換える[サウンドエフェクト]

音声をアナログ接続しているとき、音場効果を切り換えることができます。

<再生中に>

❶ [サウンドエフェクト] を押す
テレビ画面に、現在のサウンドエフェクトのモードが表示されます。

SOUND EFFECT : 1

❷ [サウンドエフェクト] を押してサウンドエフェクトのモードを選ぶ
ボタンを押すごとに、次のようにサウンドエフェクトのモードが切り換わります。

数値が大きくなると、サウンドエフェクトの効果が大きくなります。

通常の音声に戻すには
[サウンドエフェクト]を押して、テレビ画面上に「OFF」と表示させます。

画質を調節する[VFP]

VFP(Video Fine Processor)機能を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

<再生中に>

❶ [VFP プログレッシブ] を押す

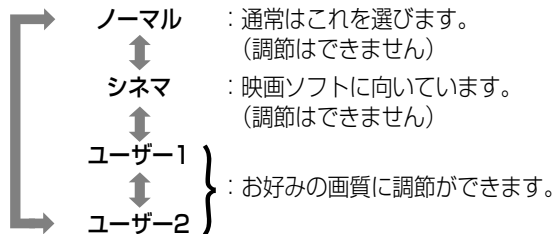
テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

現在選択されている VFP モード

ユーザー1	
ガンマ	中
明るさ	+0
コントラスト	+0
色のこさ	+0
色合い	+0
シャープネス	低い
Yディレイ	+0

❷ [◀]/[▶] を使ってVFPモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにVFPモードが切り換わります。

- ノーマル：通常はこれを選びます。(調節はできません)
- シネマ：映画ソフトに向いています。(調節はできません)
- ユーザー1、ユーザー2：お好みの画質に調節ができます。

ユーザー1、2を選んだときは

続く手順❸〜❻で設定項目を調節し、記憶させることができます。

❸ [▲]/[▼] を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。(設定範囲：**低い、中、高い**)

明るさ：画面の明るさを調節します。(設定範囲：−16〜+16)

コントラスト：画面のコントラストを調節します。(設定範囲：−12〜+12)

色のこさ：画面の色の濃さを調節します。(設定範囲：−16〜+16)

色合い：画面の色合いを調節します。(設定範囲：−16〜+16)

シャープネス：画面のシャープさを調節します。(設定範囲：**低い、高い**)

Yディレイ：画面の色ズレを調節します。(設定範囲：−2〜+2)

❹ [決定] を押す

VFP設定ウィンドウが消えて、項目ごとの調節ウィンドウが表示されます。

例：「ガンマ」を選んだとき

❺ [▲]/[▼] を押して設定項目の調節をする

[▲]を押すと数値が大きくなります。
[▼]を押すと数値が小さくなります。
- 数値の調節範囲は、設定項目によって異なります。

❻ [決定] を押す

再び、VFP設定ウィンドウが表示されます。
他の項目の調節をするときは、手順❸からくり返します。

VFP設定ウィンドウを消すには

[VFP(プログレッシブ)]を押します。
- 何も操作しないと、ウィンドウは約10秒で消えます。

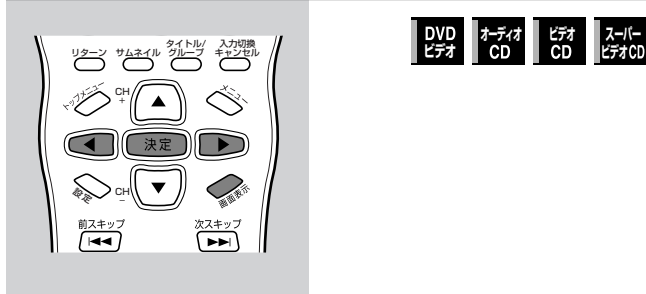
ご注意

- **VFP設定ウィンドウを表示させるときは、[VFP(プログレッシブ)]を長く押さないでください。長く押すと、スキャンモードの切換ボタンとして働きます(➡ 12ページ)。**

ステータスバーとメニューバー

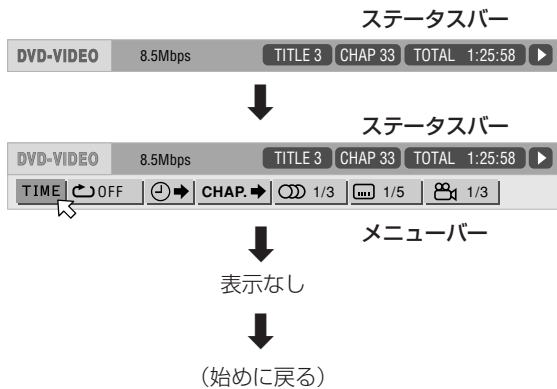
本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中のディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、さまざまな機能を呼び出して使う（メニューバー）ことができます。

・メモリーカードのコントロール画面表示中やMP3/WMA/JPEG/MPEG-4ファイルの再生中には、ステータスバー/メニューバーは使えません。

ステータスバーとメニューバーを使う［画面表示］

<再生中または一時停止中>

❶ 画面表示 を押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

例：DVDビデオのとき

❷ メニューバー表示中に ◀/▶ を押して でアイコンを選ぶ

❸ 決定 を押す

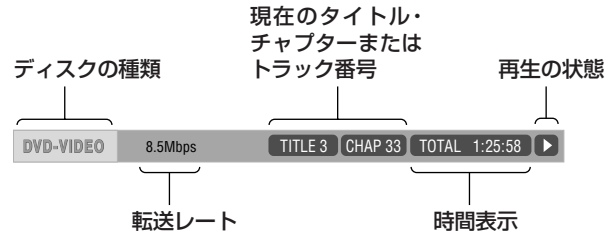
各機能が設定できるようになります。設定内容については「アイコン一覧」（➡ **24**ページ）をご覧ください。

・メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

ご注意

・DVDビデオやビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、メニュー画面での操作がうまくいかないときがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

●ディスクの種類

DVDビデオのとき：DVD-VIDEO

オーディオCDのとき：CD

ビデオCDのとき：VCD

スーパービデオCDのとき：SVCD

●転送レート（DVDビデオのみ）

映像の単位時間当たりの平均情報量を示しています。

●現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号

DVDビデオのとき

TITLE 3 CHAP 33：現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 33：現在のトラック番号が表示されます。

●時間表示

次の4つの時間表示ができます。

TOTAL：ディスクの最初からの経過時間

T.REM：ディスクの残り時間

TIME：現在再生中のチャプター/トラックの経過時間

REM：現在再生中のチャプター/トラックの残り時間

●再生の状態

DVDプレーヤーの再生の状態を表示します。

再生中：▶　停止中：■

一時停止中：❚❚　早送り/早戻し中：

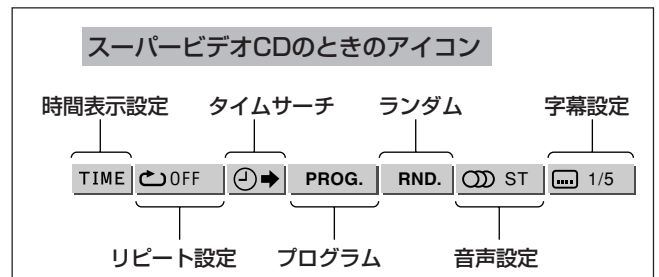
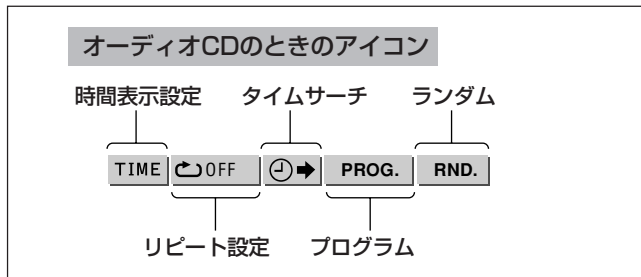
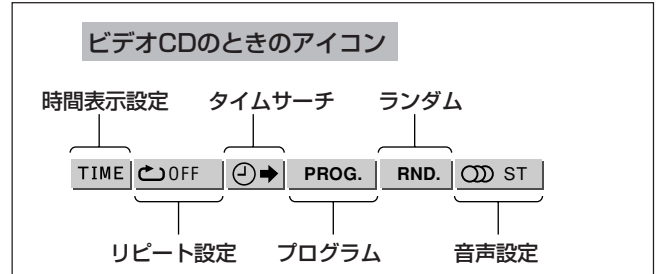
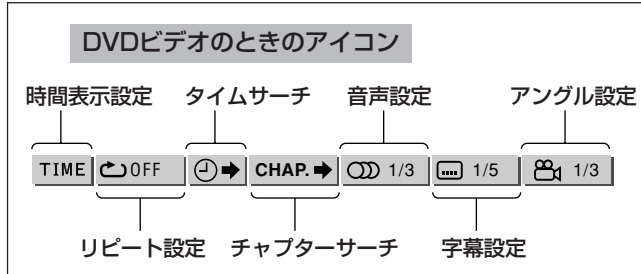
スロー再生中：

応用操作

ステータスバーとメニューバー(つづき)

ステータスバーとメニューバーを使う[画面表示] (つづき)

メニューバーについて

メニューバーからは次の操作をすることができます。メニューバーのアイコンはディスクの種類によって異なります。
詳しい使い方は、「アイコン一覧」をご覧ください。

アイコン一覧

- TIME 時間表示アイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  ステータスバーの時間表示を切り換えます。**[決定]**を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。

  TOTAL : タイトル(ディスクの頭から)の再生経過時間
  T. REM : タイトル(ディスク)の残り再生時間
  TIME : チャプター(トラック)の再生経過時間
  REM : チャプター(トラック)の残り再生時間

  ( )内はDVDビデオ以外のディスクのとき

- OFF リピートアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  いろいろなくり返し再生するとき選びます。詳しくは、「くり返し再生する」(➡ **25**ページ)をご覧ください。

- タイムサーチアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  再生したい場所を時間で、指定します。数字ボタンでタイトルまたはディスクの頭からの時間を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。詳しくは、「再生したい位置の時間を指定する」(➡ **20**ページ)をご覧ください。

- CHAP. チャプターアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  DVDビデオで再生したいチャプターを指定します。数字ボタンでチャプター番号を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。

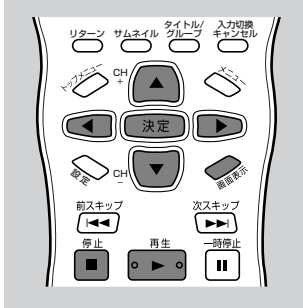
- 1/3 音声言語/音声アイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  複数の音声言語/音声を楽しめるディスクの再生中に音声を切り換えます。**[▲/▼]**で音声を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- 1/2 字幕アイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。**[▲/▼]**で字幕を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- 1/3 アングルアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  複数のアングルを持つDVDビデオの再生中、アングルを切り換えます。**[▲/▼]**でアングルを選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

- PROG. プログラムアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  プログラム再生をするとき選びます。
  ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「好きな順番で再生する」(➡ **26**ページ)をご覧ください。

- RND. ランダムアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
  ランダム再生をするとき選びます。
  ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「無作為な順番で再生する」(➡ **26**ページ)をご覧ください。

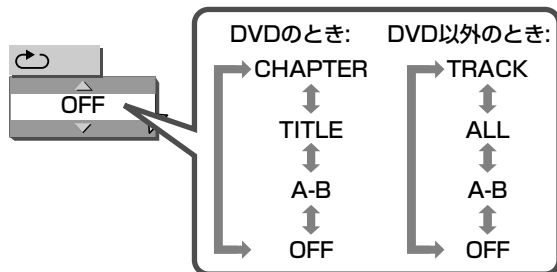
くり返し再生する（A-Bリピート再生）

再生中のチャプター(DVDビデオのとき)やトラック(DVDビデオ以外のとき)の指定した範囲をくり返し再生することができます(A-Bリピート再生)。また、その他のくり返し再生をすることもできます。

<DVDビデオ/CDオーディオ　:再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD :PBCオフで再生中に>

❶ [画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶]を押して[カーソル]を[OFF]に合わせ、[決定]を押す

❸ [▲]/[▼]を押して「A-B」を選ぶ

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

・A-Bリピート再生以外のモードを選ぶこともできます。その他のモードについて詳しくは、**20**ページをご覧ください。

❹ くり返したい部分の頭で、[決定]を押す（Aポイント）

メニューバーに[A-]が表示されます。

❺ くり返したい部分の終わりで、[決定]を押す(Bポイント)

メニューバーの表示が[A-B]になり、AポイントとBポイント間のリピート再生が開始されます。

A-Bリピート再生を解除するには

[停止(■)]を押します。

再生が停止し、A-Bリピート再生は解除されます。

・DVDビデオのA-Bリピートを解除するには、**[停止(■)]**を2回押してください。

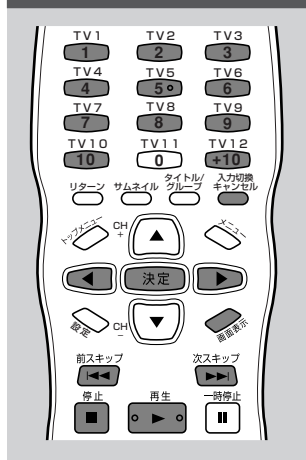
お知らせ

・メニューバーの[A-B]に[カーソル]を合わせ、**[決定]**を押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
・**[次スキップ(▶▶|)]**または**[前スキップ(|◀◀)]**を押しても、A-Bリピート再生は解除されます。

ご注意

・「⃠」が表示されたときは・・・
ディスクによってはA-Bリピート再生ができない場合もあります。
・タイトルまたはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
・プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-Bリピートはできません。
・リピート再生中にタイムサーチをすると、リピート再生は解除されます。

好きな順番で再生する(プログラム再生)

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

再生するトラックの順番を、最大99トラックまで自由に決めることができます。同じトラックを2回以上プログラム再生することもできます。

- **プログラム再生中に、リピート再生をすることもできます(➡20ページ)。**

<停止中に>

❶ [画面表示] を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶] を押して[カーソル]を PROG. に合わせ、[決定] を押す

例:オーディオCDのとき

プログラム画面が表示されます。

❸ 数字ボタン(1〜10、+10)を使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

例:「5」を選ぶときは、[5]と押します。
「12」を選ぶときは、[+10] ➡ [2]と押します。
「22」を選ぶときは、[+10] ➡ [+10] ➡ [2]と押します。

99トラックまで設定することができます。

- プログラムの設定を間違えたときは
  修正したいところまで[▲/▼]を押して[カーソル]を動かし、**[キャンセル(入力切換)]**を押します。

❹ [再生] を押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。

プログラム再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押します。
プログラム画面が表示されます。

プログラム画面を消すには

[画面表示]を押します。
- プログラムの内容は消去されません。

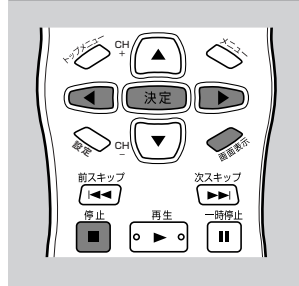
[再生(▶)]を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容を消去するには

停止中に、プログラム画面を表示させて**[停止(■)]**を押します。すべてのプログラム内容が消去されます。

お知らせ

- CDのプログラム再生中に、**[次スキップ(▶▶|)]**を押すと次にプログラムされているトラックにスキップし、**[前スキップ(|◀◀)]**を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。
- ビデオCD/スーパービデオCDのプログラム再生中は、**[▶▶]**または**[◀◀]**は働きません。
- プログラムされたすべてのトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの内容は残ります。
- 次の操作をするとプログラムの内容が消去されます。
  ーディスクを取り出す
  ーメモリーカードのコントロール画面を表示させる
  ー電源を「切」にする

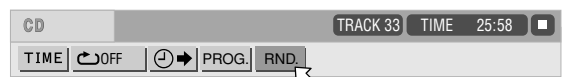
無作為な順番で再生する(ランダム再生)

すべてのトラックをランダム(無作為)に一度ずつ再生します。

- **ランダム再生中に、リピート再生をすることもできます(➡20ページ)。**

<停止中に>

❶ [画面表示] を2回押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶] を押して[カーソル]を RND. に合わせる

例:オーディオCDのとき

❸ [決定] を押す

ランダム再生が始まります。
すべてのトラックの再生が終了すると、ランダム再生は解除されます。

ランダム再生をやめるには

[停止(■)]を押します。
ランダム再生は解除されます。

お知らせ

- 次の操作をするとランダム再生は解除されます。
  ーディスクを取り出す
  ーメモリーカードのコントロール画面を表示させる
  ー電源を「切」にする

音楽・映像ファイルを再生する

再生できるファイルについて

本機は、CD-R/RW上やメモリーカード上にある、以下の音楽・映像ファイルを再生することができます。

・**MP3ファイル**
サンプリング周波数44.1 kHz、ビットレート128 kbpsで作成されたファイルを推奨します。
– ID3タグには対応しません。
– MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。

・**WMA*ファイル**
ビットレート64 kbpsで作成されたファイルを推奨します。
– ビットレート48 kbps以下で作成されたファイルは再生できません。
– WMAタグには対応しません。
– 著作権保護機能には対応しません。

・**JPEGファイル**
解像度640×480で作成されたベースライン方式のファイルを推奨します。
– 解像度5120×3413以上のベースライン方式のファイルは再生できません。
– 解像度2048×1536以上のプログレッシブ方式のファイルは再生できません。

・**MPEG-4ファイル**
シンプルプロファイル、ASF（「用語解説（➡ **46**ページ）」）フォーマットで記録されたファイルを再生することができます。
– メモリーカード対応ムービーで記録したMPEG-4シンプルプロファイルが再生できます。パソコンなどで作成したシンプルプロファイルは、再生できない場合があります。
– 再生される映像の大きさは、デジタルムービーなどで記録されたときと同じになるので、テレビ画面上では小さくなります。
– 記録時のフォーマットの制約のため、再生される映像の画質は粗くなります。
– メモリーカードの特性、デジタルムービーの機種、記録状態によっては、再生できない場合があります。

いずれのファイルにも拡張子を正しく付ける必要があります。

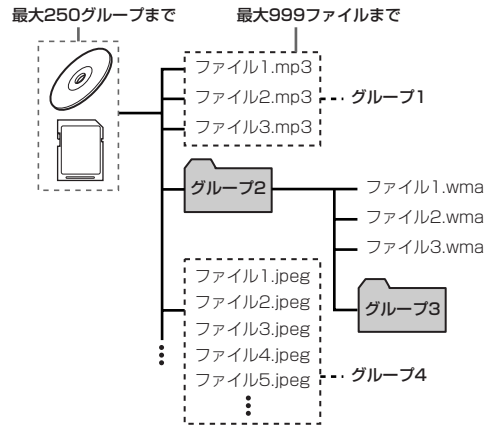
* WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

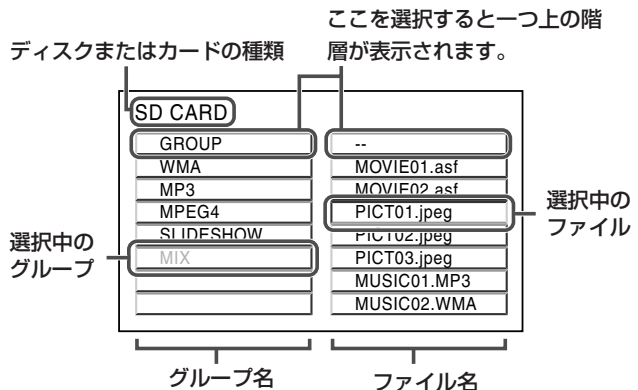
お知らせ

・ディスクやメモリーカードの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
・ディスクやメモリーカードの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

ファイル/フォルダ（グループ）について

通常ファイルは、種類別、ジャンル別などのフォルダとして、まとめて分類します。さらに、ファイル/フォルダの階層構造をつくることもできます。
・識別できるグループの階層は5階層までです。

本書ではフォルダを「**グループ**」と呼びます。
本機は、1つのCD-R/RWやメモリーカードにつき最大250グループまで、1グループ内に最大999ファイルまでを識別し再生することができます。
これらを超えるグループやファイルは再生できません。
・再生できないファイルがある場合、それらもファイルとして数えます。
・再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

コントロール画面について

MP3/WMA/JPEG/MPEG-4ファイルを含むCD-R/RWやメモリーカードを本機に挿入すると、コントロール画面が表示されます。コントロール画面からファイルを選んで再生します。
・ファイル/グループの階層構造によっては、コントロール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・ファイル名やグループ名に半角英数字以外の文字を使用すると、正しく表示されません。また、表示できる最大文字数は拡張子抜きで、12文字までです。
・コントロール画面に表示されるファイルの順序は、拡張子のアルファベット順（asf、jpeg、mp3、wma）になります。

作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは次のことに注意してください。
・**正しい拡張子を付ける（大文字小文字の混在も可）**

MP3ファイル	「.MP3」「.mp3」
WMAファイル	「.WMA」「.wma」
JPEGファイル	「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」
MPEG-4ファイル	「.ASF」「.asf」

・**ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用し、最大12文字までとする**

CD-R/RWディスクを作成するときは次のことに注意してください。
・**ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
・**パケットライト方式（UDFフォーマット）は使わない**
・**マルチセッション数は5以内にする（それ以上は再生できません）**

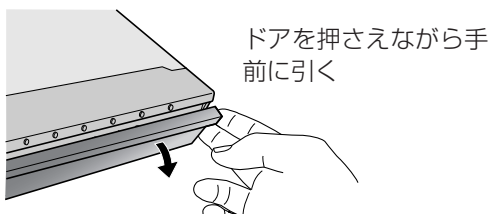
音楽・映像ファイルを再生する(つづき)

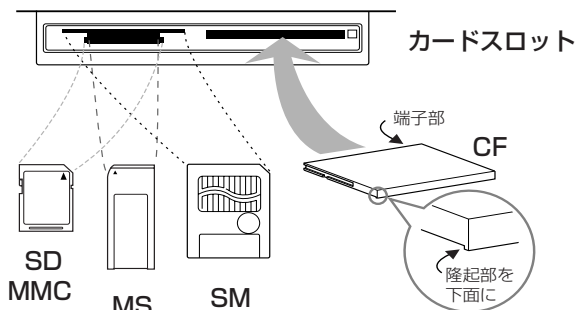
メモリーカードの抜き差しについて

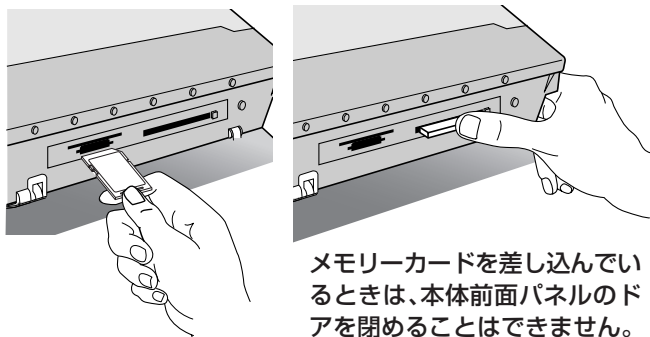
本機には2種類のメモリーカードスロットが搭載されています。メモリーカードの種類ごとにスロットは決まっています。

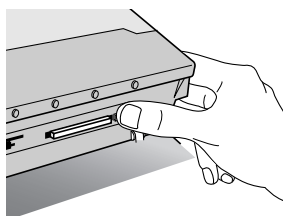
ご注意

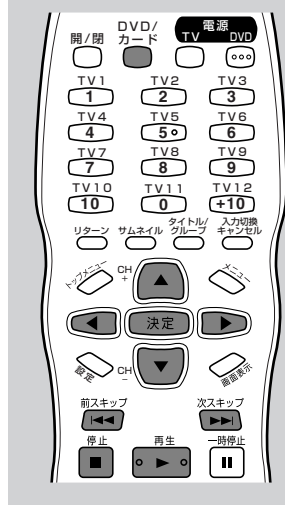
- **メモリーカードの抜き差しは、メモリーカードとディスクの再生を停止してから行ってください。再生中に抜き差しすると、静電気やノイズにより操作ができなくなることがあります。このようなときは、いったん電源プラグを抜き、再び差してからお使いください。**

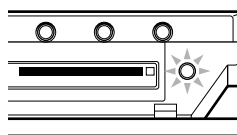
・**本体前面パネルのドアを開ける**

・**メモリーカードをカードスロットに差し込む**

メモリーカードを差し込むときは、スロットの位置と、カードの向きをよく確かめてください。
特に、コンパクトフラッシュを差し込むときは、本機を支えて、しっかりと奥まで差し込んでください。

メモリーカードは、一度に1種類だけ差し込んでください。

メモリーカードを差し込んでいるときは、本体前面パネルのドアを閉めることはできません。

・**メモリーカードを取り出す**

コンパクトフラッシュを抜くときは、本体を支えながらスロットの横にあるレバーを押して、取り出してください。
その他のカードは、直接手で取り出してください。

メモリーカードスロットを使用しないときは、本体前面パネルのドアを閉じておきます。

基本操作

コントロール画面からグループやファイルを選んで再生します。

- **再生できるファイルを含むCD-R/RWとメモリーカードが挿入されているときは、再生を始める前に[DVD/カード](本体では[DVD/CARD])を押して、コントロール画面を切り換えます。再生中に切り換えることはできません。**
- メモリーカードのコントロール画面が表示されているときは、本体のDVD/CARDランプが点灯します。

<コントロール画面表示中に>

❶ [▲]/[▼] を押してグループを選び、[決定] を押す

- 選んだグループ内のすべてのファイルが、コントロール画面の右側に拡張子順に表示されます。
- グループを選び直すときは、[◀]を押して、再度グループを選びます。

❷ [▲]/[▼] を押してファイルを選び、[決定] または [再生] を押す

再生が始まります。

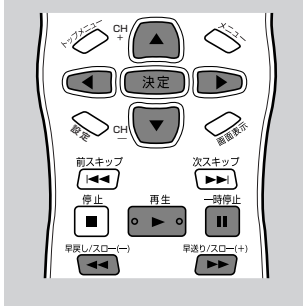
- [▶▶|]または[|◀◀]を押すと、リスト内のファイルが7つずつ切り換わります。
- 本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
- [決定]を押したときは、選んだファイルのみ再生されます。
- [再生(▶)]を押したときは、選んだファイル以降のすべてのファイルが順番に再生されます。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

お知らせ

- メモリーカード再生中またはコントロール画面表示中にディスクトレイを開けると、ディスクの操作に切り換わります。メモリーカードの再生は停止します。
- ファイルの記録状態によっては、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 本体表示窓には「99」までのファイル番号が表示されます。100番目以降のファイルは、「0」、「1」、「2」…と表示されます。

いろいろな再生をする

一時停止、早送り/早戻し、ズーム、回転、反転などいろいろな再生をします。再生しているファイルによって、使えない再生もあります。

一時停止をする

<再生中に>

[一時停止] を押す

再生が一時停止します。

再生を始めるには

[再生(►)]を押します。
通常の再生が始まります。

早送り、早戻し再生する

<MP3/WMAファイルの再生中に>

[早送り/スロー(+)] または [早戻し/スロー(−)] を押す

- ボタンを押すごとに、早送りまたは早戻し再生のスピードが段階的に変わります。

  2倍 ➡ 4倍 ➡ 6倍 ➡ 8倍

早送り、早戻し再生をやめるには

[再生(►)]を押します。
通常の再生が始まります。

映像を拡大する

<JPEG/MPEG-4ファイルの再生中に>

[ズーム] を押す

テレビ画面上に「ZOOM」と表示されます。

- ボタンを押すごとに、拡大の倍率が次のように段階的に変わります。

JPEGファイル

1.5倍 ➡ 2倍 ➡ 4倍 ➡ 1倍（ズーム解除）

MPEG-4ファイル

2倍 ➡ 4倍 ➡ 1倍（ズーム解除）

- MPEG-4ファイルでは、解像度によって4倍ズームが働かないことがあります。

拡大する位置を変えるには（JPEGファイルのみ）

JPEGファイル再生中に**[◄/►/▲/▼]**を押します。

映像を通常のサイズに戻すには

[ズーム]を押して1倍を選びます。

映像を回転・反転表示する

<JPEGファイルの再生中に>

[◄]/[►]/[▲]/[▼] を押す

画面上に「ROTATING」と表示されます。

- [◄]を押すごとに、画像が反時計回りに90°回転します。
- [►]を押すごとに、画像が時計回りに90°回転します。
- [▼]を押すごとに、画像が左右反転します。
- [▲]を押すごとに、画像が180°回転し、さらに左右反転します。

JPEGファイルのスライドショー(➡ **31**ページ)再生中は、拡大・回転・反転はできません。

再生中の表示について

- **ファイルの再生中に、テレビ画面上には次のメッセージが表示されることがあります。**

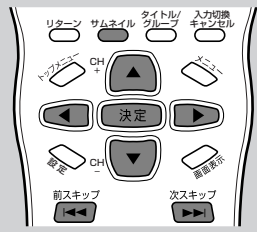
「JPEG DATA ERROR」：本機で再生できないJPEGファイルのとき

「JPEG DATA CORRUPTED」：再生中のファイルの一部分が読み込めなかったとき

「NEXT」：次のファイルにスキップするとき

「PREVIOUS」：前のファイルにスキップするとき

「SELECT」：サムネイル画面で画像を選んだとき

サムネイルから静止画を選ぶ

JPEGファイルは、テレビ画面上にサムネイル画面を表示させ、そこから選んで再生させることができます。

- **ディスクまたはメモリーカードにあるすべてのJPEGファイルを9つずつサムネイル画面で見ることができます。**

<コントロール画面でJPEGファイルの選択中に>

❶ **サムネイル を押す**

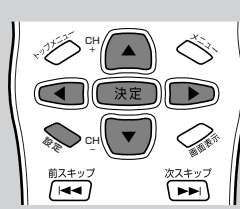
選択中のファイルを先頭に、そのグループ内のJPEGファイルのサムネイル画面が表示されます。

- 一度に最大9つの静止画のサムネイルが表示されます。
- グループを選んでいるときは、サムネイル画面は表示されません。

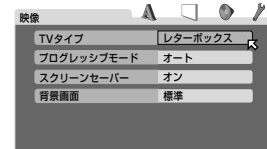
❷ **◀/▶/▲/▼ を押して再生したいファイルのサムネイルを選び、決定 を押す**

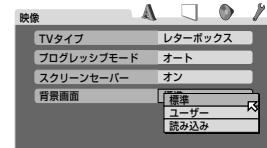
選んだファイルが再生されます。

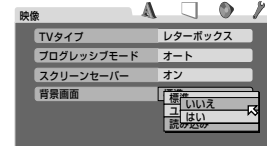
- 9つのサムネイルの中に、見たいファイルがないときは、[**次スキップ(▶▶|)**]または[**前スキップ(|◀◀)**]を押して、サムネイル画面を切り換えます。
- 1つのグループ内のすべてのJPEGファイルを9つずつサムネイル画面で見ることができます。

カスタムオープニング画面を設定する

- **本機にはオープニング画面をお好みのJPEG画像と取り換える機能(カスタムオープニング画面)があります。**
- **本機は、再生中の画像を1枚だけ保存することができます。新しい画像を保存するごとに、前の画像は消去されます。**

<JPEGファイルの再生中またはスライドショーの一時停止中に>

❶ **設定 を押して初期設定メニューを表示させ、◀/▶ を押して「映像メニュー」を表示させる**

❷ **▲/▼ を押して「背景画面」を選び、決定 を押す**

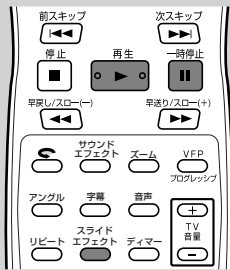
プルダウンメニューが表示されます。

❸ **▲/▼ を押して「読み込み」を選び、決定 を押す**

取り込むかどうかを決めるプルダウンメニューが表示されます。

❹ **▲/▼ を押して「はい」を選び、決定 を押す**

再生中の画像が保存され、背景画面が変更されました。

お買い上げ時のオープニング画面に戻すには

手順❸で「標準」を選びます。

JPEGファイルを連続再生する（スライドショー）

ディスクまたはメモリーカード上にあるJPEGファイルを連続再生（スライドショー）します。

- **スライドショーの再生中は、サムネイル画面から画像を選んだり、画像を回転・反転表示させることはできません。**
- **再生するJPEGファイルのグループにMP3/WMAファイルが含まれているときは、続けて再生されます。**

<コントロール画面でJPEGファイルの選択中に>

再生 を押す

スライドショー再生が始まり、次々とJPEGファイルが再生されます。

- 画像の表示時間は、そのファイルの容量によって変わります。

スライドショーの効果を設定する

[スライドエフェクト]を押します。

ボタンを押すごとに、画像の表示方法が変化します。

- テレビ画面上に「SLIDE EFFECT MODE:」と現在のモードが表示されます。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルでは、スライドショーの効果を変えることはできません。

モード	モードの説明
1	スクロールワイプ1 ：画面上端から下に向かって現れます。
2	スクロールワイプ2 ：画面下端から上に向かって現れます。
3	シャッターワイプ1 ：画面の上下から中央に向かって現れます。
4	シャッターワイプ2 ：画面中央から上下に向かって現れます。
5	ブラインドワイプ1 ：画面4カ所から下に向かって現れます。
6	スライドワイプ1 ：画面左端から右に向かって現れます。
7	スライドワイプ2 ：画面右端から左に向かって現れます。
8	ドアワイプ1 ：画面の左右から中央に向かって現れます。
9	ドアワイプ2 ：画面の中央から左右に向かって現れます。
10	ウィンドーワイプ ：画面の端から中央に向かって現れます。
11	ブラインドワイプ2 ：画面4カ所から右に向かって現れます。
RND	モード1～11の方法から画像ごとに無作為に選びます。
NONE	効果をつけません。

スライドショーを一時停止するには

[一時停止(❚❚)]を押します。

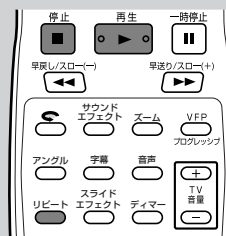
再生中の静止画が表示されます。

- **[再生(►)]**を押すと、スライドショーの続きが始まります。

スライドショーをやめるには

[停止(■)]を押します。

コントロール画面が表示されます。

くり返し再生する（リピート再生）

グループまたはすべてのファイルをくり返し再生することができます。

<コントロール画面表示中に>

リピート を押す

- ファイル選択中にボタンを押すごとにリピートモードは次のように切り換わります。

コントロール画面	本体表示窓	モードの説明
REPEAT 1	⟲ 1	現在再生中のファイルをくり返す
REPEAT GROUP	⟲	現在選んでいるグループをくり返す
REPEAT ALL	⟲	すべてのファイルをくり返す
表示なし		リピートモードの解除

- 停止中のときは、**[再生(►)]**を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

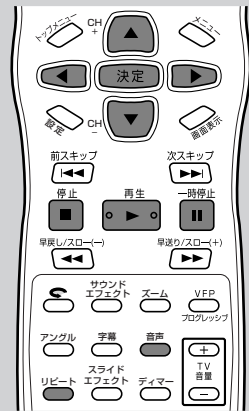
[停止(■)]を押します。

ただし、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

[リピート]をくり返し押して、コントロール画面や本体表示窓のリピート表示を消します。

音楽・映像ファイルを再生する(つづき)

音楽を聞きながら静止画を見る
(ミュージックスライドショー)

メモリーカード上のJPEGファイルをバックグラウンドミュージック(BGM)とともにスライドショー再生します。

- **ミュージックスライドショー中は一時停止しても、画像の拡大、回転、反転、スキップはできません。**
- **MP3/WMAファイルをBGMにするときは、あらかじめMP3/WMAファイルとJPEGファイルをメモリーカード上の同じグループ内に作っておきます。**

オーディオCDをBGMにする

❶ **オーディオCDを入れる**

- メモリーカードで再生中のときは、再生が停止し、オープニング画面が表示されます。
- DTS-CDをBGMにすることはできません。

❷ **JPEGファイルを含むメモリーカードを挿入する**

メモリーカードのコントロール画面が表示されます。

- すでに挿入されたメモリーカードのJPEGファイルを使うときは、[**DVD/カード**](本体では[**DVD/CARD**])を押して、メモリーカードのコントロール画面を表示させます。

複数のグループからJPEGファイルを選ぶときは、グループを選んでからJPEGファイルを選びます。

❸ **[▷] を押してコントロール画面上に「MUSIC SLIDE SHOW」と表示させる**

❹ **[▲]/[▼] を押してJPEGファイルを選び、[再生] を押す**

ミュージックスライドショーが始まります。

- オーディオCDはトラック1から再生されます。
- [**再生(►)**]を押してから数字ボタンを押して、指定したトラックから再生を始めることができます。
- BGM再生中に他のトラックを選ぶときは、[**次スキップ(►►|)**]または[**前スキップ(|◄◄)**]を押します。
- BGM再生中のオーディオCDについては、本体表示窓にトラック情報、時間情報は表示されません。

MP3/WMAファイルをBGMにする

- **ディスクがディスクトレイに入っているときは、取り出してから行ってください。**

❶ **MP3/WMAファイルとJPEGファイルを含むメモリーカードを挿入する**

コントロール画面が表示されます。

- すでに挿入されたメモリーカードを使うときは、[**DVD/カード**](本体では[**DVD/CARD**])を押して、メモリーカードのコントロール画面を表示させます。

複数のグループからJPEGファイルを選ぶときは、グループを選んでからJPEGファイルを選びます。

❷ **[▷] を押してコントロール画面上に「MUSIC SLIDE SHOW」と表示させる**

❸ **[▲]/[▼] を押してJPEGファイルを選び、[再生] を押す**

ミュージックスライドショーが始まります。

- BGMのMP3/WMAファイルはグループ内の最初のファイルから再生されます。
- BGM再生中に他のファイルを選ぶときは、[**次スキップ(►►|)**]または[**前スキップ(|◄◄)**]を押します。
- 選んだJPEGファイルのグループに、MP3/WMAファイルが含まれないときは、ミュージックスライドショーは始まりません。

ミュージックスライドショーをくり返すには

コントロール画面に「MUSIC SLIDE SHOW」と表示されている間に、[**リピート**]を押します。

ボタンを押すごとにリピートモードは次のように切り換わります。

コントロール画面	本体表示窓	モードの説明
REPEAT 1	⟳1	現在再生中のJPEGファイルをくり返す
REPEAT GROUP	⟳	現在選んでいるグループのJPEGファイルをくり返す
REPEAT ALL		
表示なし	表示なし	リピートモードの解除

再生を一時停止するには

[**一時停止(II)**]を押します。

再生中の画像が表示されますが、BGMの再生は続きます。

もう一度[**一時停止(II)**]を押すと、BGMも一時停止します。

- [**再生(►)**]または[**一時停止(II)**]を押すと、ミュージックスライドショーの続きが始まります。

ミュージックスライドショーをやめるには

[**停止(■)**]を押します。

コントロール画面が表示されます。

- ディスクトレイを開けても、ミュージックスライドショーは終わります。

お知らせ

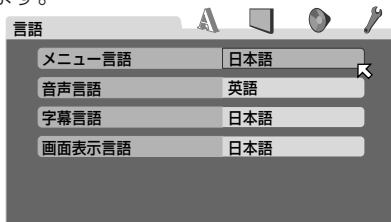
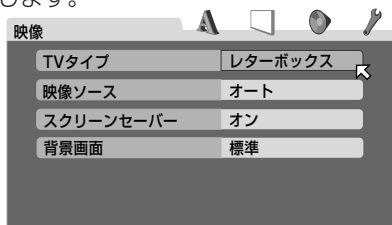
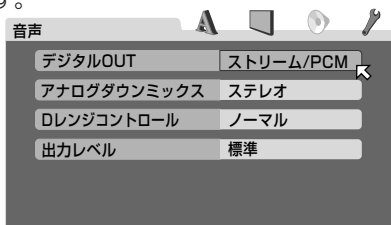
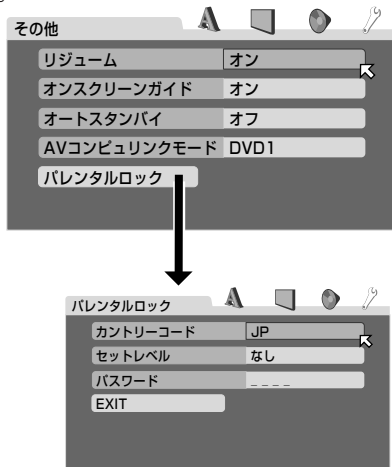
- CD-R/RWに記録したJPEGファイルやMP3/WMAファイルでは、ミュージックスライドショーをすることはできません。
- 選んだグループ内のJPEGファイルの再生が終わると、BGMの再生も停止します。他のグループのJPEGファイルは再生されません。
- JPEGファイルの再生中は、BGMはくり返し再生されます。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルでは、ミュージックスライドショーが正しく再生できない場合があります。

初期設定を変更する

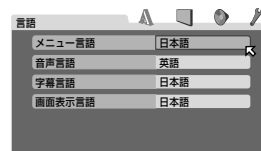
- 初期設定画面が表示されているときは、ディスクの再生を始めることはできません。初期設定画面を消してから、ディスクの再生を始めてください。
- また、MP3/WMA/MPEG-4ファイルの再生中は、初期設定画面が表示されません。
  それ以外のディスクの再生中でも、再生中は変更できない項目があります。

初期設定メニューについて

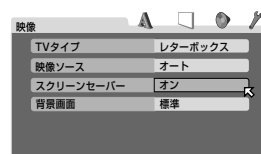
次の4つの設定メニューを使って、DVDプレーヤーの設定をします。

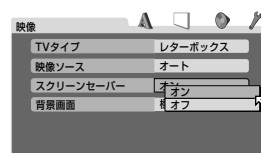
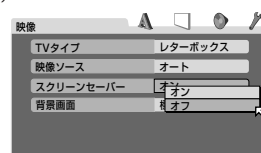
:言語メニュー　(➡ 34ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定と設定メニューの言語を設定します。

:映像メニュー　(➡ 34ページ)
映像出力の設定などをします。

:音声メニュー　(➡ 35ページ)
音声出力の設定をします。

:その他メニュー　(➡ 35ページ)
その他の設定をします。
パレンタルロックのサブメニューがあります。

お買い上げ時の設定を変更する

操作の例として「映像メニュー」の「スクリーンセーバー」の設定を変更します。

❶ [設定] を押す
言語メニュー画面が表示されます。

- 再生中には選択できない項目もあります。

❷ [◁]/[▷] を押して映像メニューを表示させる
- ボタンを押すごとにメニュー画面は切り換わります。

❸ [△]/[▽] を押して↖を「スクリーンセーバー」に合わせる

- メニュー画面によっては、他の項目の設定によって選択できない項目もあります。

❹ [決定] を押す
選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

❺ [△]/[▽] を押して↖をお好みの設定に合わせる
(➡ **34**と**35**ページ)

❻ [決定] を押す
設定が変更されました。

設定メニューを消すには
[設定]を押します。

初期設定メニュー項目一覧

（網かけ）がお買い上げ時の設定状態です。

	項目	設定内容	
言語メニュー	メニュー言語	DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 英語⟺スペイン語⟺フランス語⟺中国語⟺ドイツ語⟺イタリア語⟺日本語⟺AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	音声言語	DVDの音声言語を選びます。 英語⟺スペイン語⟺フランス語⟺中国語⟺ドイツ語⟺イタリア語⟺日本語⟺AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	字幕言語	DVDの字幕言語を選びます。 オフ⟺英語⟺スペイン語⟺フランス語⟺中国語⟺ドイツ語⟺イタリア語⟺日本語⟺AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。	選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語⟺英語	
映像メニュー	TVタイプ 16:9画面 レターボックス画面 パンスキャン画面	お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。	
		16:9	：普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。
		レターボックス	：上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。
		パンスキャン	：左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。 ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。
	映像ソース ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてみてください。	ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。	
		ビデオ(ノーマル)	：動きの少ないビデオ素材の映像の再生に適しています。
		ビデオ(アクティブ)	：動きの激しいビデオ素材の映像の再生に適しています。
		フィルム	：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録された映像ソースの再生に適しています。
		オート	：素材のタイプ(ビデオ/フィルム)を自動判別します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像の再生に適しています。通常はこの設定にします。
	スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバーを使うか、使わないかを選びます。	
		オン	：静止画が5分以上続くと画面が暗くなります。
		オフ	：スクリーンセーバーは機能しません。
	背景画面	本機のオープニング画面を変更するときや、新しい画面を登録するときに選びます。 登録の手順については、**30**ページをご覧ください。登録できる画像は一つです。新しく登録すると前の画像は消去されます。	
		標準	：お買い上げ時のオープニング画面を表示させたいとき選びます。
		ユーザー	：登録した画像をオープニング画面として表示させたいとき選びます。
		読み込み	：お好みの画像を登録したいとき選びます。

・上記の設定を変更するときは、**33**ページ「お買い上げ時の設定を変更する」をご覧ください。

がお買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容	
音声メニュー	デジタルOUT	本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。(デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません)設定項目と出力信号の関係については、**36**ページの表をご覧ください。	
		オフ	：DVDビデオの96kHzアナログ音声を楽しむとき、この設定にします。本機のDIGITAL OUT端子からデジタル音声は出力されません。デジタル音声で楽しむときは、「オフ」以外に設定してください。
		PCMのみ	：リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。
		DOLBY DIGITAL/PCM	：ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
		ストリーム/PCM	：DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	アナログダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。(この設定はDVD ビデオを再生するときのみ影響します)	
		ドルビーサラウンド	：本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
		ステレオ	：本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
	Dレンジコントロール	ドルビーデジタルの音声を再生しているときにダイナミックレンジ(最大音声と最小音声の差)を圧縮(コンプレッション)することができます。夜間にサラウンドをお楽しみいただくときに使います。	
		ワイドレンジ	：ダイナミックレンジを圧縮しないでお楽しみいただけます。
		ノーマル	：通常はこの設定にします。
		TVモード	：本機をテレビにつないでいるとき選びます。小さい音でもよく聞こえます。(ダイナミックレンジTVモード)
	出力レベル	音声出力のレベルを小さくするときに使います。	
		標準	：通常はこの設定にします。
		小	：出力レベルが小さくなります。
その他メニュー	リジューム	リジューム再生(➡ **15**ページ)を使うか、使わないかを選びます。	
		オン	：リジューム機能が働きます。
		オフ	：リジューム機能は働きません。
		ディスクリジューム	：最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます。ディスクを取り出しても停止位置を記憶します。
	オンスクリーンガイド	再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク ▶ .... など)や文字を表示するか、表示しないかを選びます。	
		オン	：マークや文字が表示されます。
		オフ	：マークや文字が表示されません。
	オートスタンバイ	60分または30分間、本機の停止状態が続いたとき、本機の電源を自動的に「切(スタンバイ)」にするか、しないかを選びます。	
		60	：60分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
		30	：30分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
		オフ	：オートスタンバイ機能は働きません。
	AVコンピュリンクモード	ビクターのテレビやAVアンプなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。(➡ **40**ページ)	
		DVD1	：テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続したとき選びます。
		DVD2	：テレビのビデオ1入力に接続したとき選びます。
		DVD3	：テレビのビデオ2入力に接続したとき選びます。
	パレンタルロック	視聴制限(パレンタルロック)を設定します。この項目を選ぶと、パレンタルロック設定画面が表示されます。設定方法については、**37**ページをご覧ください。	

・上記の設定を変更するときは、**33**ページ「お買い上げ時の設定を変更する」をご覧ください。

〈言語コード一覧〉

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ-ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

〈デジタルOUT詳細〉

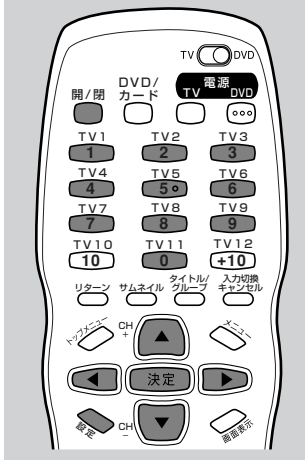
<table>
<tr><th rowspan="2">再生するディスク/メモリーカード</th><th colspan="4">「デジタルOUT」設定</th></tr>
<tr><th>ストリーム/PCM</th><th>DOLBY DIGITAL/PCM</th><th>PCMのみ</th><th>オフ</th></tr>
<tr><td>48kHz、16/20/24ビット
リニアPCMのDVDビデオ</td><td colspan="3" rowspan="2">48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td><td rowspan="9">出力しません</td></tr>
<tr><td>96kHzのリニアPCMのDVDビデオ</td></tr>
<tr><td>DTSのDVDビデオ</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルのDVDビデオ</td><td colspan="2">ドルビーデジタルビットストリーム</td><td>48kHz、16ビット
ステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>オーディオCD/ビデオCD</td><td colspan="3">44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのオーディオCD</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>MP3/WMAファイルを記録した
CD-R/RWやメモリーカード</td><td colspan="3">リニアPCM</td></tr>
<tr><td>MPEG-4ファイルを記録した
CD-R/RWやメモリーカード</td><td colspan="3">出力しません</td></tr>
</table>

お知らせ

- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの再生では、20または24ビットの音声信号がデジタル音声出力端子から出力されることがあります。

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)

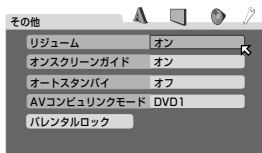
過激なシーンを含むDVD映画ソフトを再生するときなど、ディスクが対応しているときパレンタルロックの設定に応じて、そのようなDVD映画ソフトの視聴を制限することができます。

はじめに設定する

<停止中、またはディスクが入っていないときに>

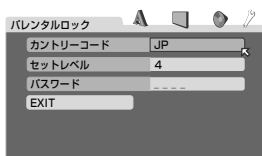
❶ [設定] を押す

設定メニューが表示されます。

❷ [◀]/[▶] を押して「その他メニュー」に ↖を合わせる

その他メニューが表示されます。

❸ [▲]/[▼] を押して↖を「パレンタルロック」に合わせ、[決定] を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

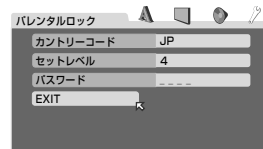
- はじめて設定するときは「カントリーコード」が選ばれます。

❹ [▲]/[▼] を使って設定項目を選び、[決定] を押す

カントリーコード：**39**ページの一覧表を参考に[▲/▼]でカントリコードを選び、[決定]を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。[▲/▼]で数値(1〜8)または「なし」を選び、[決定]を押します。

パスワード：数字ボタン(1〜9、0)を押して4ケタのパスワードを入力し、[決定]を押します。

❺ 手順❹をくり返し他の項目を設定する

- パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

❻ [決定] を押す

チャイルドロックについて

本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすること(チャイルドロック)ができます。小さなお子様がいるご家庭などで、誤作動を防ぎたいときお使いください。

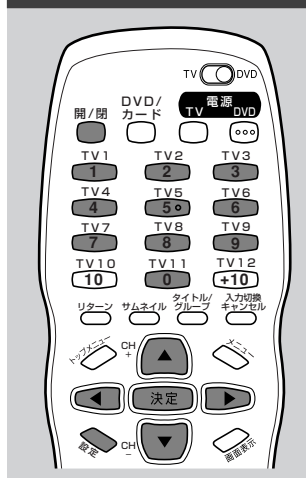
チャイルドロックの設定をする

- **本機にディスクを入れた状態で操作します。**
- **本体のボタンで操作します。**
- **電源が「切(スタンバイ状態)」のときに操作します。**

電源が「切」のとき、本体の[■(停止)]を押しながら、[▲(開/閉)]を押す

- **チャイルドロックが設定されているときは、ディスクを取り出そうとすると、本体表示窓に「LOCK」と表示され、ディスクトレイが出てきません。**
- **チャイルドロックの設定を解除するときは、もう一度同じ操作をします。**

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)(つづき)

設定を変更する

・現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。

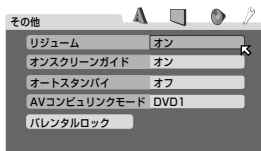
・パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき☐が「EXIT」に移動し、動かせなくなります。[決定]を押してもう一度最初からやり直してください。

<停止中、またはディスクが入っていないときに>

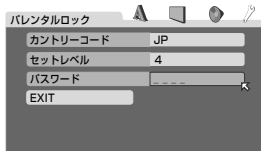
❶ [設定] を押す

設定メニューが表示されます。

❷ [◀]/[▶] を押して「その他メニュー」に☐を合わせる

その他メニューが表示されます。

❸ [▲]/[▼] を押して☐を「パレンタルロック」に合わせ、[決定] を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

・すでにパスワードを設定しているときは「パスワード」が選ばれます(➡ **37**ページ)。

❹ 設定したパスワードを数字ボタン(1～9、0)を使って入力し、[決定] を押す

正しいパスワードが入力されたときは、☐が「カントリーコード」に移動します。

・パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき☐が「EXIT」に移動し、動かせなくなります。[決定]を押してもう一度最初からやり直してください。

❺ 設定を変更する

カントリーコード：**39**ページの一覧表を参考に[▲/▼]でカントリコードを選び、[決定]を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。[▲/▼]で数値(1～8)または「なし」を選び、[決定]を押します。

・カントリーコードを変更したときは、セットレベルも新しく設定する必要があります。

❻ ☐が「パスワード」を指しているときに、数字ボタン(1～9、0)を使って新しいパスワードを入力し、[決定] を押す

❼ ☐が「EXIT」を指しているときに、[決定] を押す

その他メニューが表示されます。

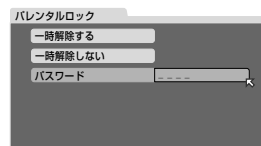
パレンタルロックを一時解除する

パレンタルロックを厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。

<再生中に>

❶ 下の画面が表示されたら、[▲]/[▼] を使って☐を「一時解除する」に合わせ、[決定] を押す

☐が「パスワード」に移動します。

・「一時解除しない」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。[開/閉](本体では[▲(開/閉)])を押してディスクを取り出してください。

❷ 設定したパスワードを数字ボタン(1～9、0)を使って入力し、[決定] を押す

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧です。

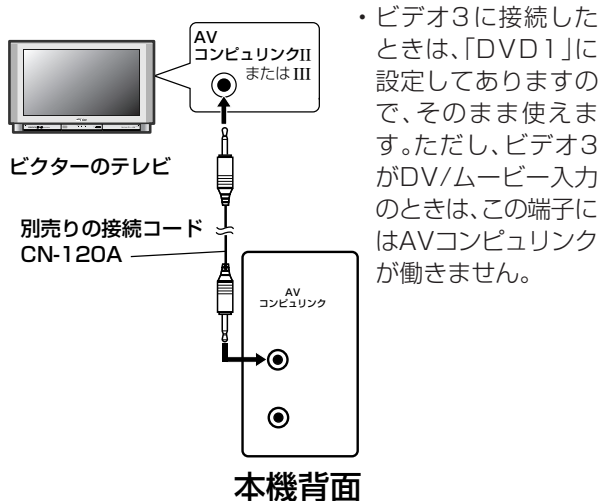
コード	国名
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Federated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Vietnam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

AVコンピュリンクの活用

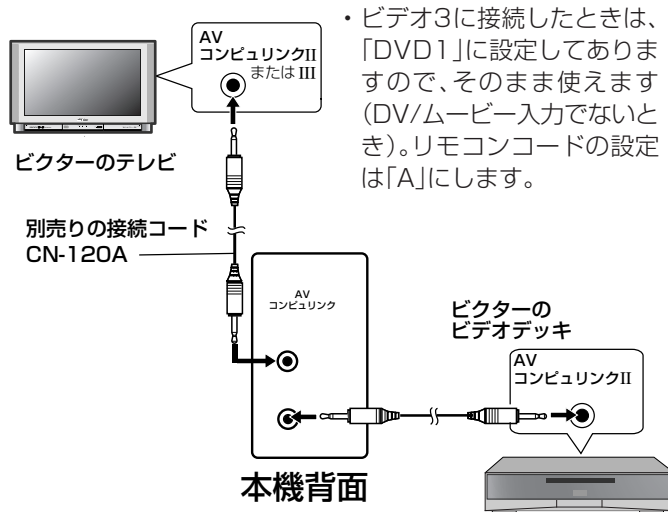
本機にテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどいくつかの機器をつないだあと、再生するための操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。ビクター製の機器をモノラルミニプラグ付きの接続コード（CN-120A：別売り）を使って各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPULINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

- 接続する前に、必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜いておいてください。すべての接続が終わってから電源を入れてください。
- AVコンピュリンクモードの設定（DVD1～DVD3 の切り換え）は、初期設定メニュー画面（➡ **35**ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

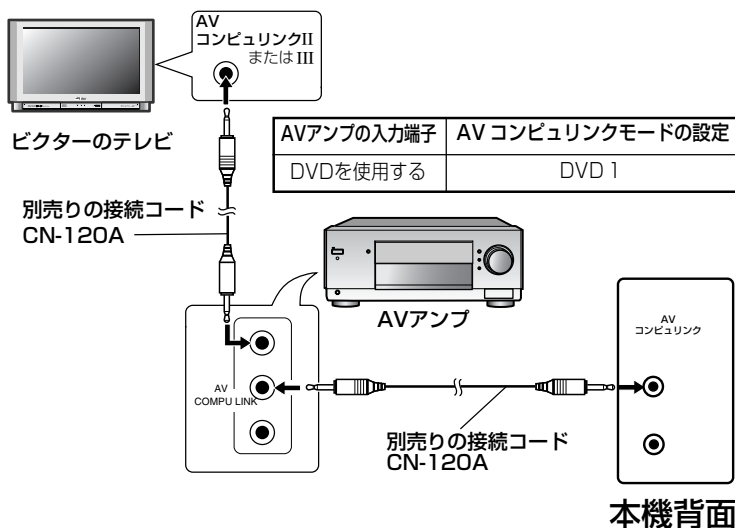
■ テレビとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ3がDV/ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	DVD２
ビデオ2のとき	DVD３

■ テレビおよびビデオデッキとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます（DV/ムービー入力でないとき）。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオデッキのリモコンコードの設定
ビデオ１のとき	DVD 2	B
ビデオ２のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

AVアンプの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD１

ご注意

- 本機からの音声出力をAVアンプにつなぐときは、AVアンプ側のDVD以外の音声入力端子に接続すると、AVコンピュリンクは正しく動作しません。
- D端子(D1/D2)を使ってテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

ソース機器（本機やビデオデッキなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1 テレビの主電源スイッチを「入」にする
2 ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる
3 ソース機器の[再生(►)]を押す

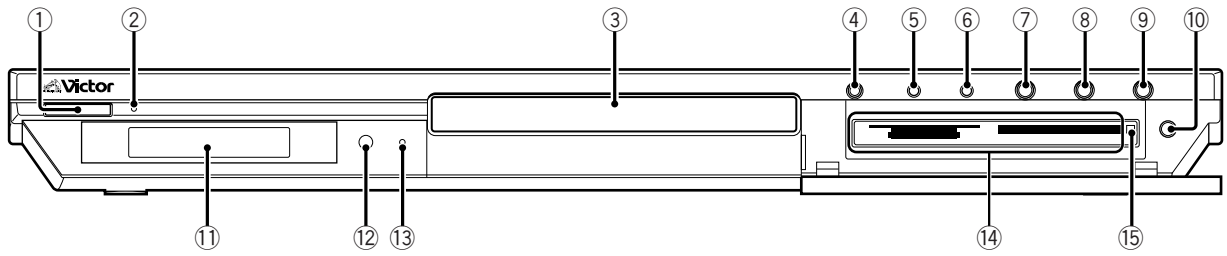
次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換がソース機器を接続している外部入力(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)になります。
- AVアンプの電源が「入」になります。
- AVアンプのソース切換が**[再生(►)]**を押した機器に切り換わります。

AVアンプの電源を「入」にしたときは

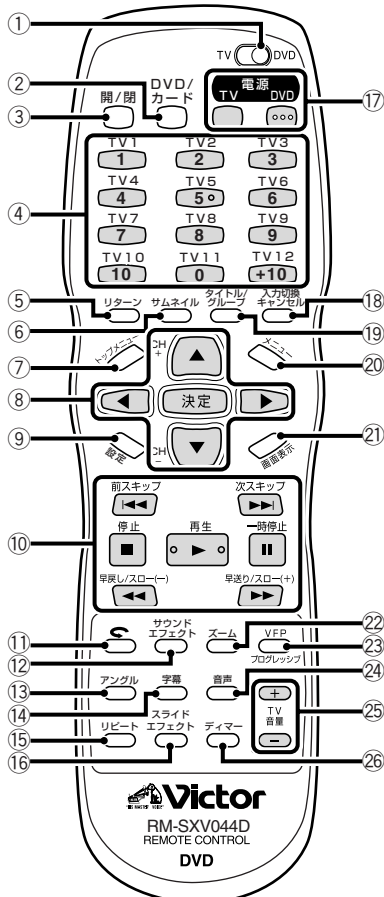
AVアンプ側で選んだソースに応じた、テレビやソース機器の電源が「入」になります。（AVアンプ側で選んだソースが「DVD」のときAVアンプの電源を「入」にすると、本機の電源が「入」になります）

各部の名称

本体と表示窓

① ⏻/I STANDBY/ONボタン ➡ **14**
② STANDBYランプ ➡ **10、11**
③ ディスクトレイ ➡ **14**
④ ⏏(開/閉)ボタン ➡ **14、37**
⑤ ⏮ボタン ➡ **16〜18、25、26、28**
⑥ ⏭ボタン ➡ **16〜18、25、26、28**
⑦ ■(停止)ボタン ➡ **15**
⑧ ▶(再生)ボタン ➡ **14、31**
⑨ ⏸(一時停止)ボタン ➡ **17**
⑩ DVD/CARDボタンとランプ ➡ **28、32**
⑪ 表示窓
⑫ リモコン受光部 ➡ **10**
⑬ PROGRESSIVEランプ ➡ **12**
⑭ メモリーカードスロット ➡ **28**
⑮ レバー ➡ **28**

LPCM MPEG Dolby D DTS VCDVD GRP TITLE TRK CHAP 1 PRGM RND TOTAL REM RESUME ▶⏸

1 デジタル音声フォーマット表示 ➡ **6**
2 ディスク表示 ➡ **14**
3 グループ/タイトル/チャプター/トラック表示 ➡ **14**
4 リピートモード表示 ➡ **20、31**
5 プログラム/ランダムモード表示 ➡ **26**
6 時間情報表示
7 ▶(再生)/⏸(一時停止)表示
8 RESUME表示 ➡ **15**
9 マルチ情報表示部

リモコン

① TV-DVD切換スイッチ ➡ **13**
② DVD/カードボタン ➡ **28、32**
③ 開/閉ボタン ➡ **14**
④ 数字ボタン(1〜9、0、10、+10)
⑤ リターンボタン ➡ **18**
⑥ サムネイルボタン ➡ **30**
⑦ トップメニューボタン ➡ **18**
⑧ メニュー操作ボタン
⑨ 設定ボタン ➡ **30、33、37**
⑩ 再生操作ボタン
⑪ (チョット見バック)ボタン ➡ **16**
⑫ サウンドエフェクトボタン ➡ **21**
⑬ アングルボタン ➡ **20**
⑭ 字幕ボタン ➡ **19**
⑮ リピートボタン ➡ **20、31**
⑯ スライドエフェクトボタン ➡ **31**
⑰ 電源ボタン(TV、DVD) ➡ **11、13**
⑱ 入力切換-キャンセルボタン ➡ **13、26、31**
⑲ タイトル/グループボタン ➡ **17**
⑳ メニューボタン ➡ **18**
㉑ 画面表示ボタン ➡ **21、23**
㉒ ズームボタン ➡ **21、29**
㉓ VFP-プログレッシブボタン ➡ **12、22**
㉔ 音声ボタン ➡ **19**
㉕ TV音量ボタン(+、−) ➡ **13**
㉖ ディマーボタン ➡ **12**

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点検をしてください。下記の項目に当てはまらないときは、本システム以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、下記の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」（➡ **43**ページ）をお読みの上、修理を依頼してください。

	症　状	処　置	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか?	—
リモコン操作	リモコンが働かない	●リモコンを受光部に向けて約5m以内で障害物を避けてお使いください。 ●電池を交換してください。 ●電池の極性(⊕、⊖)が違っていませんか？ 電池を正しく入れ直してください。 ●リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	10 10 10 10
	ディスクまたはメモリーカードが選べない。	●**DVD/カード**ボタンを押して、コントロール画面を切り換える。本体の**DVD/CARD**ボタンでも切り換えることができます。	28、32
	テレビが操作できない。	●入力した他メーカーのコード番号が間違っていませんか？ 正しいコード番号を入力し直してください。 ●TV-DVD切換スイッチを「TV」にする。	13
音声	音が出ない	●オーディオコードを正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。 ●再生中のディスクが不法なコピーディスクの可能性があります。 ディスクをお買い上げの店に確認してください。 ●デジタルOUTの設定が「オフ」になっていませんか？	8～10 7 — 35、36
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。	7
	テレビの音声にくらべて、DVDビデオ再生中の音量が小さい。	●DVD設定メニューで、Dレンジコントロールの設定を「TVモード」にしてください。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	35
映像	映像が出ない	●ビデオコードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しい入力を選び直してください。	8、9 —
	画面サイズがおかしい	●「TVタイプ」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	34
	映像が乱れる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか？ 本機とテレビを直接接続してください。 ●接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していないときに、本機でプログレッシブモードを選んでいる可能性があります。 本機のスキャンモードを「インターレース」に設定してください。	— 12
再生	「リージョンコードエラー！」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。ディスクを取り換えてください。	表紙
	再生ができない	●ディスクを正しくセットし直してください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、数時間してからディスクを入れてください。 ●視聴制限が設定されていませんか？ パレンタルロックの設定を変更してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	14 6、7 5 38 7
	MP3/WMA/JPEG/MPEG-4が再生ができない	●再生しようとしているファイルを確認してください。	27
	「言語メニュー」の設定項目が切り換えられない	●ディスクの再生を止めて「言語メニュー」の設定をしてください。	34
	音声言語/音声/字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、音声ボタンと字幕ボタンの操作を受け付けていません。字幕言語設定で切り換えてください。	— 19、24
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●「字幕言語」設定が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-Bリピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	— 19、24 —
その他	ディスクが取り出せない	●チャイルドロックが設定されていませんか？ 本体表示窓に「LOCK」と表示されるときは、チャイルドロックが設定されています。 本機の電源が「切」のとき、本体の[■(停止)]を押しながら本体の[▲(開/閉)]を押して、チャイルドロックを解除してください。	37
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源「切」にして電源プラグを接続し直してください。	—

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

42ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー
型　名	XV-PZ55
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1003

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/WMA/JPEG/MPEG-4)、DVD-R/RW(ビデオフォーマット)
再生可能メモリーカード	SDカード、マルチメディアカード、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、メモリースティック
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

映像出力端子

	出力レベル / インピーダンス
映像(コンポジット)	1.0V(p-p)/75Ω
S1映像	Y出力 ：1.0V(p-p)/75Ω C出力 ：0.286V(p-p)/75Ω
D1/D2(コンポーネント)映像	Y出力 ：1.0V(p-p)/75Ω P_B/C_B、P_R/C_R出力 ：0.7V(p-p)/75Ω
水平解像度	500本以上

音声出力端子

アナログ出力	2Vrms/10kΩ
デジタル出力	PCM/ストリーム(光) (ピーク) ：ー21dBm ～ ー15dBm
その他の端子	AVコンピュリンク (×2)

オーディオ特性

周波数特性	CD ：2Hz～20kHz(サンプリング周波数 44.1kHz) DVD ：2Hz～22kHz(サンプリング周波数 48kHz) DVD ：2Hz～44kHz(サンプリング周波数 96kHz)
ダイナミックレンジ	16bit、98dB以上 20bit/24bit、100dB以上(JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.002% W.PEAK)以下(JEITA)
全高周波ひずみ率	0.006%以下(JEITA)

その他

電　源	AC 100V、50Hz/60Hz共用
消費電力	電源「入」時 11W 電源「切(待機)」時 2.7W
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	435mm×48mm×270.5mm
質　量	2.1kg

- JEITAは電子情報技術産業協会に定められた測定方法による数値です。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。
  外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用語解説

ASF（Advanced Streaming Format）
MPEG-4シンプルプロファイルのフォーマットの一つで、音声、動画、テクストなど様々な情報を含み持つことができます。

DTS（Digital Theater System）
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタル収録されたDVDビデオで、大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができる機能です。

JPEG（Joint Photographic coding Experts Group）
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MP3
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。

MPEGオーディオ
サラウンド方式の一つで、音声データを圧縮し、最大7.1chまで対応しています。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ/ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PAL またはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDでは、メニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。また、高精細な静止画が収録されているビデオCDでは、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

VFP（ビデオファインプロセッサー）機能
映像の微妙なチューニング（調整）を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY/C ディレーなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フイルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

WMA
米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。MP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの「横:縦」の比は「4:3」、ワイドテレビ、およびHDテレビの「横:縦」の比は「16:9」の比率をもっています。

インターレーススキャン方式（飛び越し走査）
従来の映像方式で、主にテレビで使われています。

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を映しているとテレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがありますが、これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

タイトル
DVDビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1 番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり（チャプター）で区切った単位です。

トラック
CDやビデオCDなどの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つです。フロント、サラウンド(リア)計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のプロロジックデコーダーを通し再生時にはもとの4ch に戻します。2ch 記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大5.1ch まで対応しています。

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機ではこの方法で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVD ビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4 :3 のテレビに映し出す方法の一つで横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

プログレッシブスキャン（順次走査）
DVDビデオなどで使われている映像方式で、インターレーススキャン方式よりも、ちらつきのない高品位の映像をお楽しみいただけます。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTSなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のことです。一般に、各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。DVDビデオのディスクに設定されたリージョン番号と、DVD プレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式です。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比4:3のテレビに欠けることなく映し出す方法です。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。

索引

別売りのオプション品

- 光デジタルケーブル　：XN-110SA（1m）
- オーディオコード（RCAピンプラグコード）　：CN-510E（1m）
- ビデオコード（RCAピンプラグコード）　：VX-110E（1m）
- Sビデオコード　：VC-S110E（1m）
- D端子コード（Dプラグ～ピンプラグ×3）　：VX-DS210（1m）
- D端子コード（Dプラグ～Dプラグ）　：VX-DS110（1m）
- 接続コード（ミニプラグ）　：CN-120A（1.5m）
- DVDレンズクリーナー　：CL-DVDL

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
44ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0703KTYMDWJSC